(第二版)(諒承轉載)(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十二年十二月廿六日 臺灣日日新報 (日曜日) 第一萬三千五百四號 A (一)

臺灣日日新報 夕刊
十二月二十五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 ‥
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

銘酒 楓白鹿

# 溫王が政府主席に 德王は政務部總裁

## 愈よ蒙古民族大會

【綏遠二十四日發同盟】蒙古民族の再興大蒙古帝國建設を目差す新政權樹立の歷史的「蒙古民族大會」は愈々十月二十七、八、九の三日間內蒙古各盟旗王侯各代表五百餘名列席の下に歸綏公會堂において開催されることとなつた、新政權の機構は國民政府の精神に基き同大會における討議決定の結果に基き決定を見る筈であるが去る二十日開催された王侯會議の討論等より見るに

一、新政權は蒙古自治政府と稱し
二、錫林郭勒盟、烏蘭察布盟、察哈爾盟、伊克昭盟及び西四旗と卓索圖一帶の各旗に依り設立された大青山盟の五盟を統轄す
三、政府最高機關として政府主席を置き各盟に盟公署を設置、包頭市には特別市公署を置き何れも政務部の直轄官署たらしめ
四、主席は法律と同等の效力を有する命令を發し、その命令は政務に關しては其政務部長の副署を要する
五、また總務處は主として政府決策の統制、指導精神の統制に當り大總務處主義を採り各盟はその特務事情を尊重し廣大なる自治權を附與される

ものと見られる、而して政府主席には烏拉特中旗の溫王が推されるものと見られ、德王の政務部總裁、李守信將軍の軍政部長就任は確定的であらう、なほ目下政府治下に居住する漢民族は四十萬の多數に上るので蒙、漢兩種族融和の建前より當然これ等の代表者として一部有力者が新政權に參加するものと見られる

# 怒濤の如く突進

## 各部隊が一齊に 浮足立つ敵陣へ

【上海前線〇〇二十四日發同盟】猛追擊を以て敵を南方に壓迫しつゝあつた〇〇、〇〇兩部隊は廿四日夕遂に大場鎮東北角を奪取したが市街東方及び南方の敵は尙頑強に抵抗を續けてゐる、一方〇〇〇クリーク南岸の敵を急追する〇〇、〇〇兩部隊は二十四日午後八時〇〇及び〇〇を占據、〇〇部隊も亦これに呼應して堅壘〇〇〇を拔いて怒濤の如く敗走する敵を追ひ大場鎮の堅陣は二キロを餘すのみとなつた

【上海二十五日發同盟】大場鎮方面における彼我の砲聲は夜に入るに從ひ益々熾烈となり今曉零時三十分頃には殷々と上海に[illegible]してゐる

# 江灣を包圍攻擊

【上海二十五日發同盟】軍報道部午前十時發表=(一)昨二十四日夕〇〇方面部隊は尙走馬塘クリークの南岸及び大場鎮を死守し頑強に抵抗せり、軍は夜に入るも攻擊を續行し本早朝〇〇部隊をもつて走馬塘クリークを越えて西方及び南方に敵を壓迫し〇〇部隊をもつて大場鎮及び東側地區の敵を攻擊中なり(二)谷川部隊は昨日來の攻擊を續行し天絲寺及び廟行鎮南方地區より江灣を包圍攻擊中なり

# 眞茹附近敵陣を爆擊

【〇〇基地二十五日發同盟】我が海軍渡洋部隊の〇〇機は大擧して二十五日午前六時森永大尉を指揮官とし石大尉、日暮中尉を隊長として〇〇基地を出發上海上空に現はれその內〇機は有力な抵抗線と恃む眞茹鎮の陣地及び密集部隊に機銃掃射及び爆擊を敢行した、之がため附近の陣地部落は何れも火災を起し執拗な敵兵も非常な混亂に陷り支離滅裂退却中である、この素晴しい戰果を收めた〇〇機は一先づ〇〇基地に歸還し更に準備をなし正午すぎ某方面に向つた

# 肉彈進擊!十八晝夜

## 〇砲隊の大膽な砲擊

【上海二十四日發同盟】〇〇、〇〇、〇〇の各部隊が陣前進擊を續けること十八晝夜膠着に明けた二十四日我軍は全力をもつて一齊攻擊を開始した、これまで既に攻めつけられてゐた敵はこの猛攻に堪へ兼ねて浮足立つてゐた、この膠着を見た〇〇部隊長は自ら陣頭に立ち「今日こそ一兵殘らず討ち取れ」と叫び猛然と突進すれば兵は鐵壁の陣を作つて前進を開始し、潰ける敵に抵抗の餘裕を與へず急追し、揉みに揉んで午後五時には早くも〇〇〇クリークより一粁の〇〇、〇〇の線に進出した、〇〇部隊長の指揮する〇砲隊も友軍に協力すべく陣地を乘り越えて敵前に砲車を推し敗走の敵に直接照準の大膽無比なる砲擊を加へた、敵陣に命中する毎に前線の方に万歳の聲が湧くのが[illegible]中に響いて聞える、斯くて大場鎮は最早指呼の間に迫り彼我の距離は時間の問題となり士氣天を衝くものあり、〇〇、〇〇、〇〇各部隊も續々敵に肉薄し、一方〇〇部隊も午前十時猛烈に前面の敵を急襲し幾多の[illegible]を出し[illegible]〇〇を[illegible]く間に陷落し〇〇の線に進出し、更に大場鎮の攻擊に取かゝる準備中である

# 敵は既に逃げ腰で 射擊照準も不正確

## 占領直後 復旦大學を訪ふ

【上海二十四日發本社特電】我が〇〇部隊は堅固なる復旦大學の校舍を利用して頑強な抵抗を續けてゐた敵を擊退、午前九時二十分校內中央運動場にある旗竿高く日章旗を掲げ皇軍の万歳を三唱した、記者は占領後間もなく、硝煙の匂ひ濃い復旦大學を訪ねる、後方の我砲兵陣地より盛んに江灣附近の敵を砲擊しつゝある、[illegible]から見てゐると一發一發命中、敵が觀測所として利用してゐる競馬場の時計台が段々に破壞されて行くのがよく見える、一点の雲もなく晴れ渡つた秋空には我が航空部隊の荒鷲が爆音高らかに旋回飛行を行ひつゝある、轟々と地から湧き上るやうな爆音が地裂と共に聞えて來る飛行機の爆彈投下だ、頭上をかすめて飛ぶ彈丸を避けて目的の復旦大學に辿りつく、今朝まで敵の青天白日旗が掲げられてあつた校內中央の旗竿には我が日章旗が秋風に飜然と翻つてゐる、見上げる記者の頰には泉の如く感激の涙が流れ落ちて來る、大學の校舍は砲彈爆彈で大損害を受けてゐるが火災を免れてゐるのでまだ使用には堪へ得るであらう、復旦大學一番乘りの勇士〇〇部隊長は第一線に訪ねると左の如く語つた

今朝進擊命令を受けたので六時二十分進擊を開始したが敵は復旦大學附近の家屋に據り重機五挺、輕機九挺を以て我に猛射を續けたが浮足立つた敵の射擊の照準は全く不正確なので我軍は敵の亂射を物ともせず猛進に猛進を續けて猛進すれば、敵は遂に抗し得ず退却を開始した、我が全部隊將兵は七時過ぎこの好機を逸するなと時を移さず決死の[illegible]で復旦大學に突入した、この時學校を守る少數の敵が殘つてゐたが我軍は大なる抵抗も受けず大學全部を占領、午前九時二十分校內の旗竿高く日章旗を掲げ一同万歳を三唱皇居を遙拜した

# 參謀總長宮殿下 松井大將に御祝電

## 上海戰線進出につき

【東京二十四日發同盟】閑院參謀總長宮殿下には二十四日の上海戰線進出につき同日午後四時松井上海方面最高指揮官宛左の祝電を發せられた

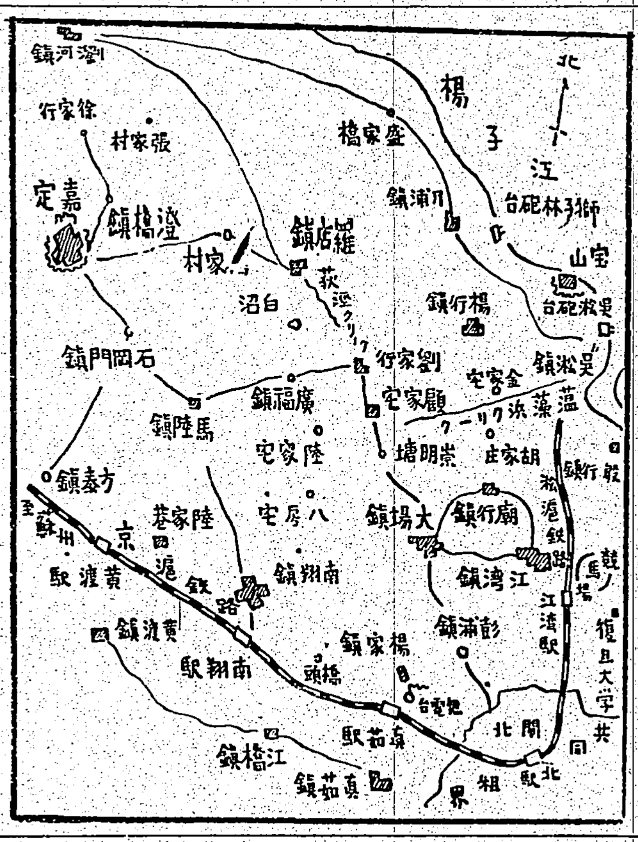
軍司令官以下連日連夜の奮戰に依り敵軍を擊退し猛追を敢行中なるを知りその成功を慶祝すると共に陣歿せし將兵の靈に對し弔意を表し併せて將兵一同の心勞を多とす邁進愈々戰果を收めんことを望む

# 國立公園區域 異議なく可決

## けふ特別委員會で

國立公園委員會特別委員會は既報の如く二十五日午前十時より總督府會議室に於て特別委員長山縣內務局長以下[illegible]交通局總長、二見警務局長、河村、宮本、松岡、梅野の各特別委員參集の上開催された、山縣委員長の挨拶に次ぎ賀內、早川兩幹事より國立公園豫定地の調査の經過及調査內容を詳細に報告した後大屯、次高タロコ、新高阿里山の三豫定地の區域を議題に供したが一、二希望意見が開陳されたのみで何等異議なく原案通り可決、來月中旬に開催される本委員會に報告する事とし正午散會

## 皇軍の進出目覺しき上海戰線略圖




# ボロを出すまいと ヨタ捷報を統制

## 考へたりな、中央黨部の指令

支那新聞は性懲りも無く例のヨタ捷報を掲げ挿つた〳〵と空宣傳で[illegible]離反せんとする民心を繋いで居るが昨今では人民の間にも漸くヨタ捷報に疑ひを持つに至つたのでこれではならじと中央黨部が新に指令を發し捷報を統制してボロを出さないやうに努めて居る樣で右につき[illegible]局は左の如く語つた [illegible]

近に自國民は勿論の事諸外國にも支那新聞の戰勝の捷報には興味を持たなくなつた樣だ、其處で中央黨部も考へたものらしい[illegible]

# 深甚なる遺憾の意を表明

## 英兵誤射事件に關して 第三艦隊當局談を發表

【上海二十四日發同盟】英國守備兵誤射事件に關し、第三艦隊報道班では二十四日左の當局談を發表した

本日午後二時頃ケスウイツク路において發生せる事件につき詳細調査の結果、當時大場鎮方面より南方に退却中の支那軍に對し攻擊中の海軍航空隊は英國警備軍陣地を支那軍と誤認し之を銃射し英國兵一名に傷害を加へたる事判明せるを以て帝國海軍は率直に其の非を認め第三艦隊參謀長杉山少將は本日午後英國支那艦隊司令を訪問し深甚なる遺憾の意を表明せり

【上海二十四日發同盟】岡本上海總領事は二十四日午後十時フイリツプ英國總領事を其の私邸に訪問英兵誤射事件につき深甚なる遺憾の意を表明した

# 企畫院總裁 親任式

## けふ御擧行

【東京二十五日發同盟】新企畫院總裁の親任式は二十五日午前十時宮中鳳凰間において天皇陛下出御あらせられ近衛首相侍立の下に左の如く行はせられた

正五位勳二等 瀧 [illegible]
任企畫院總裁

# 法制局長官 けふ發令

【東京二十五日發同盟】[illegible]

## 人事

外務參與官正五位勳四等 船田 中
任法制局長官(一等)
正五位勳五等 平木 弘
任內閣統計局長(二等)
內閣統計局長 長谷川赳夫
依願免本官

人事

▲加藤恭平氏(臺拓社長) 二十三日夜臺東より歸北
▲小倉二二氏(南國產業取締役) 廿五日中部を經て南部及東部へ
▲向山幹夫氏(工學博士) 二十三日來臺、廿五日臺北化學工業に往復、夜行にて南部へ
▲池田卓一氏(三井物產支店長) 廿八日空路內地より歸臺の由
▲古賀保一氏(日本水產高雄出張所長) 廿三日來北(鐵道ホテル)

## ★無絃琴★

上海戰線に"大異狀"を生じ支那軍は皇軍の猛擊に漸く總退却を開始したが之は吾が陸海軍が一體となり更に陸海空その他有ゆる機關が呼吸を合せて猛擊を加へた為で凡て豫定通りである▲しかし陸海軍の各將兵が、この數日來、上海附近の既成陣地に猛擊を加へたことが的の戰果を收める上に可なり有力に役立つてゐることは素人眼にも明かに判る、[illegible]▲何しろ今度の上海戰は、敵がすつかり防備を整へた上で挑戰して來たので、前回の上海戰の時とは凡てに亙つて勝手が違ひ、皇軍も相當に苦心したのであるが、然し昔から"戰鬪"にかて日本軍の前には"不可能"といふ事はなく、否ソレが困難であればあるほど益々勇猛心が發揮されるのだから全く世界の驚異である▲大場鎮の堅陣が陷落すると同北方面一帶の敵は袋の鼠となる訳で、之が掃蕩できると共同租界方面は愈々安泰となる次第だ。

## その日その日

〇 目標は"大場鎮"にある、抗日軍が再び起てぬまで徹底的に膺懲を加へるにある—

〇 この目的を集約的に果すには、上海戰線が一番戰へ向き、蔣介石の死命も茲で制せられる

〇 "地中のもぐら"が、大場鎮陷落と共に"袋の鼠"と化けさうだ尤も、もぐらも鼠も大差はないが

〇 上海前線の中樞陣地大場鎮に次いで、眞茹、南翔、嘉定といふ陣守で片付くだらう、望みとあらば"南京進擊"また辭せず

〇 戰果だけでなく凡てに、堅實の歩一歩で進みたい、未だ月は歿れないが然し途も遠い

〇 のぼせ上つて北上してゐる間に自分の[illegible]家廟西の穴藏には、當堂と中央軍の居直り

〇 同床異夢のゆめさむれば、各府[illegible]各省、國內の地盤爭ひに、虚々實々の段取り

〇 娘子軍に女學生軍……なんて一寸オツかも知れんが、茲にも歴然たる"無理"の跡を見る

〇 防空法の實施近し、ソレどころでも—の心構へで完璧を期すべし、「もう大丈夫」などは[illegible]

# 浮標のごとき女

(119)

尾崎士郎作
梁川剛一畫

## 秋の夜長(六)

「だからさ——」

と一戸が言葉を續けた。

「何も大ゲサに考へる必要はないぢやないか、況や、平守と早苗さんとぐるになつてゐるなんて——そんたバカな、君の頭は少し混亂してゐるぜ」

一戸にしてみれば、今となると片森のことよりも、自分の女房の方のことが氣がかりになるのである。

「いや、大丈夫—奧さんだつて、きつと今に歸つてくるよ」

彼の眼は窓越しに深い闇の中をぢつと睨み据ゑてゐるのである。

(雨はもうすつかり晴れて道といふ道はうすい霧に掩はれてゐた)

「それよりも」

と、片森はもう一度怒鳴さうに身體を顫はせた。

「僕は一生涯、あの女につき纏はれるのかと思ふと、どうにも我慢ができない氣がするんだよ——考へてもみたまへ、あの女の何處に取柄があるんだ、話をしたつて面白くないし、それに淫奔だ」

ぐつと涎液を呑みこんだ。

「淫奔だつて?」

「ああ、淫奔ときたら露にしたくもないぢやないか、僕と會ふときだつて、あの女は心から物を言つたことは一ぺんだつてないんだからね」

しかし、さう言ひながらも、片森は將來の不安はみる〳〵うちに方向を轉換した。といふのは、立てつゞけにしやべりたてる彼は、なんでもないことをしやべつてゐるうちに、そといふ彼自身の言葉にどつと驚かされたのである。すると女に對する愛着がありありと彼の腦にこみあげてきた。

(さうだ、[illegible]したことに爲らないで濟むかも知れないな——もしさうだとすれば、自分から先に立つて大騒ぎをするにも及ばないぞ、おれの頭にはいよ〳〵混亂して

ゐるらしいぞ!)

まつたく彼は混亂してゐたのである。動くとも彼の當面してゐる事實は、唯、女房が夫婦喧嘩の餘燼で家をとび出してしまつたといふだけのことである。しかし、それにしたところで、その當座はさうなるべきことをひそかに望んでゐた彼ではないか。

「もしだね」

と、片森はさら〳〵の煩悶を擦あげた。

「これが法律問題になつた場合には、僕の立場はどうなるんだらうか?」

「どうなる譯もないぢやないか」

「僕はまつたく受身だつたんだからな、だが、あの女はさういふ場合になつたらきつと嘘を吐くにちがひないと思ふよ、まつたく、君、ああいふときには」

彼は沈んだ聲で言つた。

「女の方が有利だつたんだからな」

平常ならば口に出して言へさうもないことまでも、自分の正義を主張せずには措かぬぞ、といふ調子であふれるやうにしやべりだしたとき、一戸耕介が皮肉な微笑をうかべた。

「おい——ほんとにしつかりしろよ、狼狽するにも程があるぞ、一體、誰に君を法律によつて制裁し得る資格があるのかね、むしろ訴へらるべきは君を強制つた平守の方ぢやないか——心配するなよ、君は唯、避けることのできない場合にぶつかつて不可抗力に引きずられてしまつたといふだけのことさ、たとへばこれがむでになくて僕であると假定したところでだね」

彼は最後の言葉に[illegible]語調を加へた、となりの部屋に何時の間にか夜の女房が歸つて來てゐて、おつと二人のはなしに耳をすましてゐるやうな氣がしたからである。

「たしかに、さうだ」

と、片森は急に肩をすぼめこんで、唸んだ。

「アイ[illegible]だけどね、君、僕はあんな[illegible]な女に未練なんかないぜ」

危險を未然に!

食ひすぎ 飲みすぎ のあとに

惡疫誘發の因となる下痢腹痛の起らぬ內ヘルプを御服用あれば、危險を輕快に防ぐことができます。ヘルプは下痢腹痛に卽效ある腸胃カタル良藥で、衰弱腸胃の快復力強く、食物の消化と榮養の吸收の促進作用著しく、食慾振起と體力增進の基本劑として愛用家の信頼極めて大です

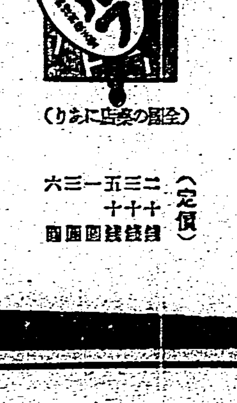
腸胃の衰弱と疾患に ヘルプ

宮內省 前侍醫 柏村博士創製

この名藥をこんな時にも
●食ひ過ぎた、飲み過ぎたと思ふ時に……
●何となく腹工合がヘンだと思ふ時に……
●大便後、肛門に不快な感じの殘る時に……
●腹がはつて食慾不振の時に……
●下腹腹痛が持續し滋養物の身につかぬ時に……

(主效)
飲過・食過・食傷
水傷・寢冷・冷腹
時候傷・消化不良等より起る……
くだりはら・はらいた
はきくだし・はらはり
しぶりばら・はらなり
腸カタル・胃カタル

(定價) 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 三圓 六圓



(全國の藥店にあり)

本舖 東京市日本橋區通油町一丁目 津村敬天堂 振替東京八六四番

# 頑敵總退却の日

## "お叱りの手紙かと激勵狀にびくく"

### 喜びに震へる松井大將夫人

【東京二十五日發同盟】上海戰線における頑敵支那軍が全面的總退却を開始したとの報はこれこそ九千万同胞にとつては上海派遣以來二月間今か今かと待ち受けた快報である、二十四日直ちにこの快報を齎して上海方面最高指揮官松井大將夫人文子さん（五〇）を大森山王台の自宅に訪れる、夫人は

まあ上海の敵が總退却を開始したのですつて、これで本當にほつとしました

と悦び震へるばかりに、喜びを次の如く語つた

實は上海には松井が中佐の頃フランス租界に六年程居まして攻めて行くのに大變な所だと存じてはゐましたが仲々困難の樣子なので此頃では毎日いろんな方から頂くお手紙を見るのもお叱りの手紙ではないかとびくくで封を切り拜見して激勵のお手紙と判つてほつとするやうな次第です、日本軍が勝つて本當にこんな嬉しいことはございません、でもこれまでに戰死や戰傷をなさつた方々のことを思ふと何だか胸が詰る思ひです、先日の松井からの便りにも若し運があつて生還したら歸後は戰死者の冥福を祈るために全國を行脚したいといふやうなことが書いてありましたが今度の勝利も全くこれら勇士の方々の命がけのお働きの結果で心から深く深く感謝してゐる次第であります

（寫眞は松井大將夫人）

## 大場鎭のクリーク 敵の死體で充滿

### 小倉中尉 空爆戰を語る

【上海二十四日發本社特電】二十四日の上海戰線の空爆戰に參加壯烈な活躍した小倉正芳中尉は午後五時頃〇〇基地に歸還爆撃の模樣を左の如く語る

大場鎭一帶のクリークと云ふクリークは戰死した敵兵や軍馬の死體並にトラック等により一杯に埋められて居り敵兵がトラック數十臺を連ねて續々と退却して居るのを發見是を捉へて追撃すると蝗のやうに飛び降りて四散し我が爆彈の爲め悉く敵兵やトラックや軍馬が空中に吹き上げられるのが認められた、又橋と云ふ橋は我が爆彈の爲め悉く破壞されて居るので敵の狼狽振りは言語に絶するものがあつた

## "呀ッ！迫撃砲彈"

### 加納部隊長の最期を 語る伊藤上等兵

【上海前線〇〇二十四日發本社特電】去る十一日午前十時十五分敵陣地の爲め加納部隊長を始め附近にあつた和知中尉、荒城軍醫中尉以下數名は戰死したがその時加納部隊長の傍で通信手として電話機を握つて居り兩足に重傷を負つた東京市出身の伊藤乙男上等兵は二十三日〇〇野戰病院で壯烈なる加納部隊長の奮戰振りを重傷の痛みをこらへつつ始めて語つた

激戰に部下の損傷多しと見られた部隊長は進んで第一線に出られ私もお伴したが、既にこの時悲壯な決意を固められたものの如く重要物件は全部後方に殘す樣命ぜられた、第一線の塹壕にあつて部隊長の指揮をとられた所も僅か直徑四間深さ二尺の壕に天幕を張つた儘の陣地で雨は容赦なく降り込むと云ふ始末だつた、戰死の前日十日夜は敵の夜襲の爲め天幕は穴だらけとなる程砲彈が飛んで來た此日やつと炭が屆いたが隊長は火にも當らず兵にばかり當らすやうにして居られ一同泣かされて終つた、十一日朝は愈々攻撃を開始する事になり部隊長が立上つて命令を下して居る時急にドカンドカンと五發の迫撃砲彈が廿米位前後に落ちたが加納部隊長は毅然として身じろぎもせず部下の幹部に命令を傳へて居られた、然し續いて飛び來つた砲彈の破片は部隊長の頭部に命中壯烈な戰死を遂げられアッと私がそばに駈け寄らんとした時續いて落下した第二彈に私は足をやられた、部隊長は何時も吾々部下に優しい方であつた

祈り終つて伊藤上等兵は暗然と目を伏せたのであつた

## 令子女王殿下 今曉薨去

【東京廿五日發同盟】伏見宮令子女王殿下御薨去に付き二十五日午前六時四十分宮内省では澤原書記官の名を以て左の如く發表した

伏見宮博義王第二女令子女王殿下には本月廿一日感冒に罹らせられ御療養中の所急性肺炎を御併發本日午前二時十五分薨去遊ばされた

尚令子女王殿下には昭和八年の御出生御七歳未滿のため公式には御服喪遊ばされない

## 始末に困る 怪ジャンク船

### 〇〇大尉語る

【〇〇電話】上海戰線に參加又中支の沿岸封鎖に當つてゐる〇〇は二十四日朝〇〇に入港した〇〇を訪へば事變稼ぎも逞しい〇〇大尉は次の如く語る

支那沿岸を通ふ汽船は目立つて少くなり支那の船など一隻も見られず唯時々漁業狀況がある位で張合ひのないこと夥しい、之からはモンスーンとの鬪の方がきつい、何しろ波は艦橋を越え四十五度傾斜等は珍しくない迚も甲板等まともに歩けない、飯も石油罐に入れて運ぶのだが危なくてたまらぬ、支那の汽船はゐないが時々沿岸近くの極く淺い所を怪我克船が何か運んでゐるのを發見する、支那人も近頃頭がよくなつて

〇〇の　近寄れない淺い所を選んでゐる譯で此方から小さな船でもやらうものならすぐポンくと射ち出す心算でゐるのだ、實際こんな奴は始末に困るよ、上海では時々大砲をブッ放した大砲を射つ時はとても氣持がよいね、支那の飛行機も偶には頭上まで飛んで來るが、千米も三千米もの上空をおつかなびつくりで飛んでゐるので爆彈も墜落したつて當るものか、殺られやつつけても支那には人間が多いし彼方此方に隱した飛行機を引つ張り出すのだから爆彈は當らなくてもまるで蝿か蚊のやうなものでで全く九月蝿いことと

## 夥しい

それで出て來ては我軍にやつつけられる可哀想

## 神苑の隅に綴る銃後風景

### 林立する祈願の小旗

銃後の熱誠は益々日に高まり、台灣神社には毎日、朝と言はず、夜と言はず、武運長久を祈願する人波で、身動きもならぬ盛況さであるが、之は又誰のなせる所業かなである、おそらくは出征軍人の家族か？何にしても拜殿に向つて「武運長久」の文字が鮮かに認められてある、內地で言ふ御百度詣りと全く同一のものと想像するが、それにしてもこの紙の小旗が台灣神社參道の樹に沿うて道端の草の根元に白々と一列に行儀よく、或は又數百本一団まりに突き刺されてゐる非常時に相應しい異風景を描き出してゐる（寫眞上は神社にて、下はその小旗の大寫し）

## 山東軍の前哨陣地 脆くも相次いで崩る

### 皇軍の黄河北方確保の日迫る

【天津二十五日發同盟】二十二日陵縣を占領した赤柴部隊は更に東南に前進して二十三日午前九時臨邑店を午後一時三十分馬家務（陵縣南方二里半）を占領した、敵の所敗された敵は山東軍第二十九師の第八十一旅でわが猛撃に追はれて徒駭河南岸に退却しつつあるが同日決戰の肚を決めた磯谷部隊は陸下の精鋭第二十九師を濟陽より北上せしめ商河、惠民、商城の線を連ね徒駭河の巨流を恃んで我を邀撃せんとしてゐたものであるがその前哨陣地は我軍の猛進に相次いで陷り連日に亘る空軍の活動にこれ等諸陣地及び禹安、京州等津浦線上の後方陣地、兵站地點等を爆破され既に黄河以北の敵陣地は敗色濃厚となり皇軍の黄河北方を確保するの日も間近に迫つてゐる

## 忻口鎭を猛爆

【〇〇二十四日發同盟特派員】忻口鎭の東西に連なる天然の要害に據つて頑强に抵抗を續ける敵陣地に對して我が空軍に連日猛撃を敢行してゐるが昨二十三日午後岩田部隊の〇〇機は忻口鎭西方及び〇北方の山岳陣地にある敵の移動部隊に對し壯烈な爆撃を敢行した我が的確なる爆撃に敵の陣地に次から次へと粉碎された寧ろ武南地上部隊前面の障害排除に多大の效果を奏げた、更にこれと前後して岩田部隊の〇〇機は忻口鎭南方の敵陣地に對しこれ亦果敢なる爆撃を行ひ敵に大損害を與へて歸還した

## 娘子關附近の敵陣に大爆撃

【〇〇根據地二十四日發同盟】山西太原方面の寄託は漸次わが軍に有利に展開しつつあるが陸軍飛行隊は[illegible]

## 愛國婦人會臺灣本部員の陸軍病院入院患者慰問

愛國婦人會臺灣本部では[illegible]の陸軍病院入院患者を慰問する[illegible]、小林總督夫人[illegible]、各部長、[illegible]、同、[illegible]等の一行は二十五日午前十時〇〇陸軍病院を訪問、[illegible]見舞品を贈呈し[illegible]

## 鈴木義文氏重傷

文教局学務課勤務鈴木義文氏は佐長鎭坊上等兵として十月二日某方面敵夜襲の際手榴彈の爲め〇〇及び〇〇に重傷を負ひ〇〇病院に入院した旨來信があつた

## 人口二十萬を目標に 新竹の都市計畫

### 十一月に決定發表

【新竹電話】新竹市の都市計畫は當局に於て着々準備を進めつつあつたが最近漸く成案を得、來る十一月初旬の市會協議會に諮る事になつて居るが、從つてこの發表は十一月中頃となるべく新竹市民多年の希望が達せられる事で今迄に見られぬ都市計畫として[illegible]が、由來新竹市民は屋を望んで居り[illegible]當局に於て[illegible]ぼうかなかつた爲め延々して居たが向きも多かつたが是が發表されれば急激に家屋の建築增加し[illegible]の發展に拍車をかけるものと大いに期待をかけられて居る同今回の都市計畫案は新竹市二十年後の將來を見越し人口二十万を目標に設計されて居る模樣である

## 壯烈な曾木君の戰死

### 日本國民の心にかへつて

【北京二十二日發本社特電】廣安門の戰に重傷を負つた櫻井部隊長は砲彈に身をさらへて京漢線の最前線に活躍中であつたが、二十三日北京に歸つた、同隊長によつて曾つて田中清玄一派の共產黨事件に連坐した元日本共產黨員曾木克彥君の壯烈な戰死の模樣が明かにされた、曾木君は我が特務機關〇〇隊の一員として櫻井部隊長に隨ひ最前線に出動敵彈が敵の銃火を浴びつつ重要なる特別任務に就いて奮鬪してゐたが去る十八日涿河の戰線に進撃して敵前九十米の地點に於て一彈命中し途に戰死した、折柄兵は當かかつて一面の高粱畑は當のやうに燃えるだそれが時であつた、曾木君が下腹部に彈丸を受けてバッタリ仆れたので櫻井部隊長は思はず部署を捨てて驅けより「曾木しつかりしろ」と抱き起すと、曾木に「ソウ[illegible]す」とニッコと言へるや、苦しい頸をふり絞つて「天皇陛下万歲」と叫んで息を引きとつた、一度は赤の陣營に身を投じた同君の死こそ異色ある戰死と言ふべく、櫻井部隊長以下全員同君の靈を悼んで[illegible]げつつの[illegible]つたのである

## 敗走する敵兵を空から將棋倒し

### 彰德方面の爆擊

【順德二十五日發同盟】二十二日朝退却を開始した彰德附近の敵兵は二十二日も引續き列車又は徒歩で續々新鄉方面へ南下しつつあること判明したが我が〇〇機が二十三日午前九時頃彰德の西方二十四粁瀏谷鎭上空に現はれた時敵兵は蜘蛛の子を散らす如く四散し僅かに迫擊砲で射擊して來たので我機は六百米の高度から爆撃し敵兵を將棋の駒を倒す如くばたばた斃した、また彰德附近では二箇列車が黑煙を吐いて南下しつつあるを發見し更にその南方に二箇列車、湯陰驛構內にも二、三箇列車が南向きに停車してゐるのが認められたので我機はこれを爆撃し敵兵の心膽を寒からしめた、敵兵は逃亡列車を編成南下する一方地上退却部隊は鐵道と並行の道路を彰德南方三十粁の湯陰附近に至るまで蜿蜒長蛇の列をなし見渡す限り黄褐色に塗り果てた河南平原を續々南方に潰走中である

## 藤田州知事が傷病兵を慰問

藤田台北州知事は二十五日午前十時頃與類文書課長を帶同し陸軍病院へ赴き傷病兵を見舞ひ各傷病兵に菓子を贈呈した後〇〇〇〇の留守宅を訪ね慰問した

## 梅林孝次大尉の葬儀

### 廿六日德島で

南京空襲に不滅の勳功を遺して八月十六日空の貴き犧牲となつて壯烈なる戰死を遂げた海軍大尉梅林孝次氏の葬式は二十六日午後一時より郷里德島市富田尋常小学校校庭にて市葬を以て盛大に執行される由

## 臺北州警務部の會議

台北州警務部では二十五日午前十時半より州會議室に於て州下各警察署長、警察課長會議を開催、州より佐々木警務部長以下各課長の外に水野台北南署署長始め各警察署長、警察課長出席、主として國民精神總動員に對する警察的對策、實行方法並びに時局に對する方策につき協議を遂げ午後も會議を續行した

## 主人の遺產 百萬圓轉げ込む

### 律義な女中さんの幸運

【福岡二十五日發本社特電】五十年間忠實に勤めた女中さんの律義が報いられて主人の遺產百万円を貰ひ一躍女長者になつた幸運の人がある、下關市與小路職井長吉翁（七五）は六十年の生涯を獨身で押通し家業の米穀商に精出す傍ら暇さへあれば土藏の中にこもり防長の郷土研究を一生の樂しみとし佐佐木信綱博士等學界知名士とも交友あり隱れた郷土研究家として一部の間に知られて居た變り者であるが非常な氣むづかし屋であつたここに五十年前から女中奉公に入つた山口縣小野田町の庄司タマさん（六七）は骨身を惜まず働き孤獨の老翁を慰め仕へて居た所職井翁は病臥し死期迫るを知るやタマさんを呼び多年の親切を謝しお禮に遺產全部を讓る旨を告げ自己の親友の三男を養子に迎へ十月十六日病床で目出度く結婚式を擧げさせ二十一日夜眠るが如く永眠した、變り者の翁の事とて遺產はどの位あるか知る者もなかつたが概算百万円を下らぬこと判明一躍百万長者になつた兩名の幸福が話題にされて居る

## 御遺蹟碑の前に奉拜所を設備

### 臺灣神社祭當日

台灣神社祭當日に於ける市民の參拜を容易ならしめるため台北市では公會堂前廣場の北白川宮殿下御遺蹟碑の前に奉拜所を設備し二十七日午後二時より奉拜式を擧行した後老幼者の參拜を容易ならしめる事になつてゐる

## 看護婦さんの獻金は好成績

既報全國八万の看護婦さん達の軍用衞生飛行機獻納基金募集運動は其後本島でも活潑に行はれ本島での受付所台北赤十字台灣支部病院で二十五日までに受付けた分は總額六百六十八円に達し豫期以上の好成績を擧げて同院では本月末締切となつてゐるので最後の頑張りを見せやうと意氣込んでゐる、既者受付の分左の通り

金一百九円臺北赤十字病院內看護婦一同、金百二十二円基隆醫師會內看護婦一同、金六十円臺南病院內看護婦一同、金九十三円臺中病院內看護婦一同、金五十二円臺北[illegible]病院內看護婦一同、金四十四円高雄市醫會醫師會內看護婦一同、金十四円新竹醫院內看護婦一同、金二十三円臺灣藥[illegible]內看護婦一同、金十八円宜蘭醫院內看護婦一同、金十円松山療養所內看護婦一同、金十円臺東[illegible]內看護婦一同、金九円花蓮港[illegible]內看護婦一同、金一円臺北[illegible]病院看護婦比六九近藤シナ

ただ島都台北の[illegible]が基隆台南あたりよりも少いのには同病院でも解せぬと訝しがつてゐる

## 周燕、周胡兩氏の美擧

台北市東門町一ノ八周燕、周胡氏兩氏は廿五日各二十円宛計六十円を南署に寄託、國防獻金として廢、海南軍に各二十円宛、發察官慰問金として南署に二十円の獻金配布方を申出た

## 賭博の揚句刃傷

【基隆電話】二十四日午後二時半頃基隆市高町九ノ[illegible]一蓬萊町[illegible]で[illegible]、外[illegible]名が[illegible]四色[illegible]を賭け一金[illegible]円を奪き上げられた[illegible]はインチキだといきりたち出し合ひの金全部を奪還せんとした所[illegible]がカッとな[illegible]

## 二十錢の金縁眼鏡

### 五、六圓で密賣

台北市日新町古物行商洪南承（二〇）が最近台北市內各所で一個二、四十錢程度の眼鏡を金縁眼鏡と詐き五、六円で密賣してゐる處を南署に發覺、李兩犯人が被害者日下嚴重取調べ中であるが被害心當りの方は至急南署刑事室まで申出られたしと

[illegible]つて傷にあつた鋏を以て徐に斬りつけ全身十數ヶ所に全治三週間の傷を負はせた事件あり急報により基隆署では江崎、鄭全、鄭火三刑事が現場に驅けつけ一網打盡に之を檢擧目下徐は殺人、陸國栄は傷害、陸瑞その他は賭博として取調中である

## 法主公廟で皇軍の武運長久祈願

台北艋舺は寺廟の祭典方法を改善する試みとして大稻埕の法主公廟の例祭日たる二十六日は一切の儀式を改め艋舺寺の高林師を招き皇軍の武運長久及び戰捷の祈願をなす由

## あすの天氣

（來航）北の風晴れ、二十一日午前十時基隆入港豫定、（二十五日）

山西丸より

（着無電）

北部地方　東の和風晴
北部地方　北東の和風晴
東部地方　北東の和風晴
西部地方　北の和風晴
南部地方　北東の和風晴

概況（二十五日）七三三粍の高氣壓は日本海にあり東に移動する模樣、本島は全島晴近海は北東の疾風晴海上は波稍々高し

## 今晚の映畫

◆國際館（夜七時半開映）
1 犯罪王　午後七時四〇分
2 佐藤天右ボードビルアトラクション　八時一〇分
3 朝日ニュース 支那事變ニュース　九時五〇分
4 夜の鍵　九時二〇分

◆芳乃館（夜七時半開映）
1 櫻の園　午後七時四〇分
2 大每東日支那事變ニュース　九時一五分
3 江戸秘帖　八時〇〇分
4 初戀日記　十時三〇分

◆新世界館（夜七時半上映）
1 パ社ニュース51報　午後七時四〇分
2 女人哀愁　八時一〇分
3 見世物王國　九時二〇分
4 雪崩（なだれ）　九時五〇分

◆タイゲキ（夜七時半開映）
1 新版夜の魂本能寺　午後七時四〇分
2 蓬萊浮草隊　九時二〇分
3 朝日ニュース 支那事變ニュース　八時五〇分
4 戀も忘れて　九時一〇分

◆大世界館（夜七時半上映）
1 パ社ニュース、愛國行進曲　午後七時五〇分
2 眞實一路前篇・後篇　七時一〇分
3 ニュース・タイムス　九時〇分
4 支那事變特報　十時三〇分


時局流行歌
御國の爲に
故郷の便り
どこまでも
唄　東海林　はるみ
作詞　三木露風　作曲　[illegible]
葉山かほる
各一枚一円十錢
タイヘイレコード
H―3

ベートーヴェン 作品第六十八番
田園交響曲
指揮 ブルーノ・ワルター
演奏 ウイーン・フィルハーモニック 管絃樂團
コロムビアレコード

あらえびす先生曰く「この三拍子揃つたレコードを聽いて私は隨喜の涙をさへ覺えた。」
特に十二月廿日迄御買上一組毎に「總譜」と額面用ワルター寫眞呈上致します
十二吋　青盤　五枚　アルバム解説書附
製造發賣元 日本蓄音器商會 株式會社

人形材料及人形製作卸専門
フランス人形
手藝品店、糸物店、デパート、手藝部、人形店、玩具店へ向
大阪市南區北桃谷町六〇八 米澤商店

B―64
絃樂四重奏曲・ニ短調
"死と乙女"
シューベルトが死の二年前に作つた名曲
名曲、名演の作品！
此の四重奏曲は「死と乙女」と呼ばれてゐるが正しく云へば左樣に標題樂的なものではなく全般を通じてシューベルトの最も高き音樂的感動が一貫して現はれてゐる美しい曲である。既に第一樂章に於て、それは聽者の胸を強く打ち、第二樂章に到つて宿我の境地に導き、スケルツオを經て第四樂章の強い感激に行きつく一路程に過ぎないのだ。何と云ふ音樂の長所性であらう！
ブッシュの四重奏團は近來益々名聲を高めてゐるが、此の演奏によつて、その地位を確固不拔のものたらしめた。
此の名盤の第二樂章が全愛好家協會第二輯に加へられた時、全曲の吹込發表を期待された愛好家に讓ることの出來るのは何より喜ばしい事である。
ブッシュ絃樂四重奏團
十二吋（赤）四枚 解説書付アルバム入 實價十五円四十錢（JD1811〜JD1814）
ビクターレコード

輕くて・丈夫な
ノーリツ號 自轉車
銃後の護りに
能率をあげませう 輕いノーリツ號で
經費を節約しませう 丈夫なノーリツ號に乘つて

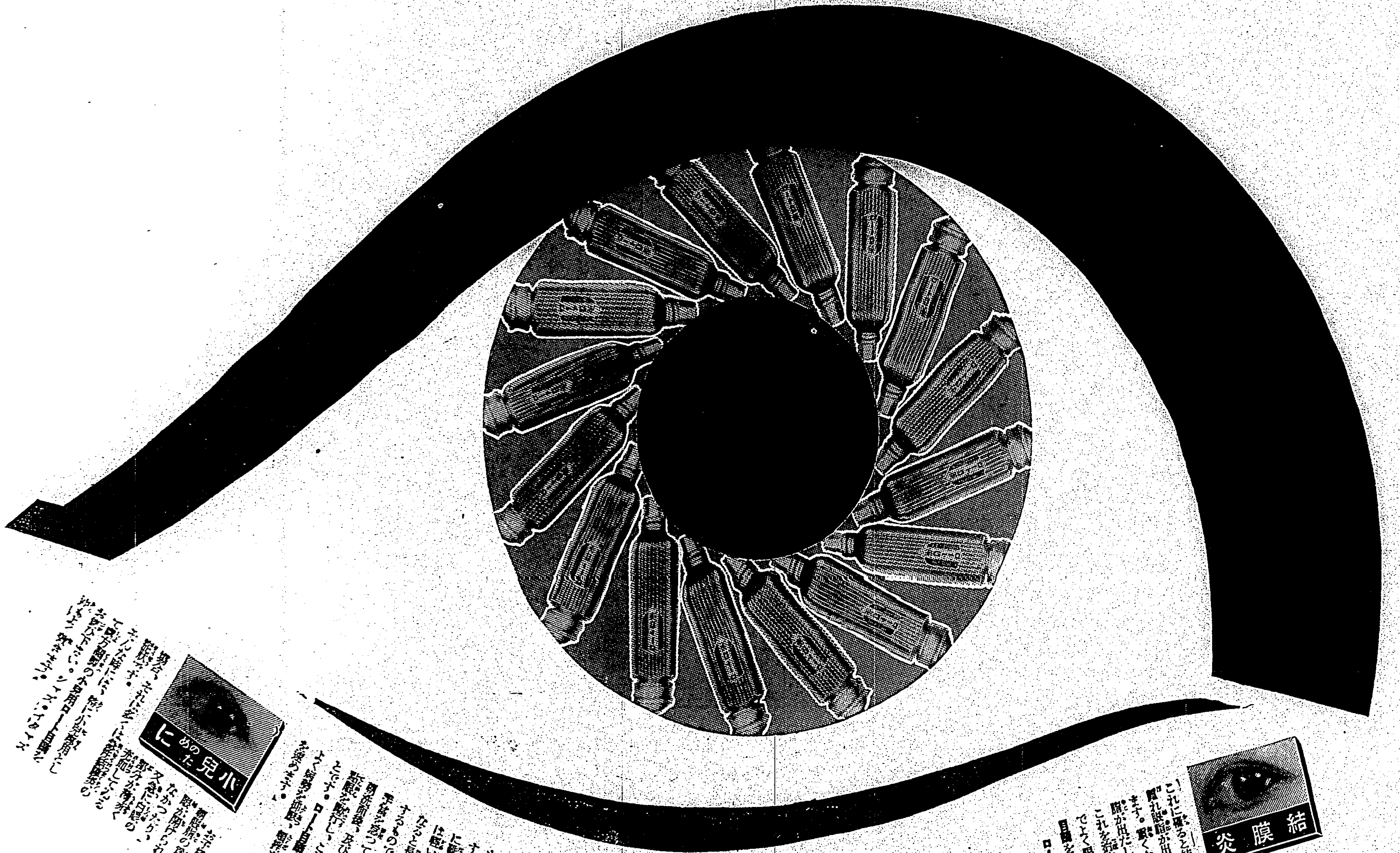
NORITSU
岡本工業株式會社

もろくの病毒 ない毒ない毒
毒掃丸
一刻も早く除毒あれ

愛國流行歌
戰地から故郷から
聽け！前線銃後に奔流する熱血の叫び！
鹽まさる 新橋みどり
(30028)

キングレコード

# ロート目藥



**結膜炎**

結膜炎は俗にはやり目やん目やに目・はれ目等といはれ、眼病のうちでも甚だ罹り易いものゝ一つです。

これに罹ると結膜に充血を來し、痒みが起れ眼脂が出たり、眼に異物感を感じます。悪くなると絶えず膿のやうな眼脂が出たし視力が障害として來ます。

これを治すには、毎朝洗面のとき清水でよく眼を洗ひ、眼脂を拭取りロート目藥を一日二三回點眼します。

ロート目藥は、その

1・殺菌作用で病原菌を殺し……

2・消炎作用で炎症を散らし……

3・鎮痛作用で痛みを止め……

4・收斂作用で創面、潰瘍面を收縮して分泌物を抑へるなど、夫々の性能が綜合的に働いて優れた效めを顯します。

**角膜炎**

角膜炎は俗にほし目・つき目かすみ目・たゞれ目等と呼ばれる黒眼の炎症で黒眼が濁つたり白い星が出來たりして眼が霞んで見にくく又はひどく涙が出て眼に潰瘍を起すことがあります。

療法は大體結膜炎の場合と同じです。ロート目藥の優れた消炎作用は、角膜の炎症に對して最も有效です。

**トラホーム**

トラホームは初め結膜に充血や顆粒が出來ますが、別に痛くもないので其儘にして置くと、其病状は益々盛にて眼球を刺戟し眼に異物感を感じ、黒眼がドンヨリ濁つたりまた逆睫毛が生えて眼の形を見にくくするは未だしも、重症に移行して非常に難治することがあります。この眼病は軽いうちに手當をするがよく、悪くなると長引くので、つい治療を等閑にするものですが、治りきるまで決して手當を怠つてはなりません。病毒は毎朝洗面後、及び日に数回ロート目藥の點眼を勵行し、これを病原に奏げることです。ロート目藥の優れた作用はよく病勢を挫き、種々の治癒を強めます。

**小兒のために**

お子供方が朝眼脂の爲に眼が開けられなかつたり、又急に白眼の部分が真赤く充血してゐる場合、それは多くは結膜炎の症状です。そんな時には、特に小兒用として造られた小兒用ロート目藥をお使ひ下さい。よく效きます。

## 慰問袋に目藥を！

### 皇軍勇士の眼を護りませう

我皇軍は北支に上海に激戰又激戰、勇士の眼は日夜の別なき過激な使用により多くは血膜に炎症を起して赤く血走つてゐるでせう

その上蒙古沙漠から吹捲くる黄砂や戰塵の爲めに眼球は傷き、或は非衛生と知りつゝも汚水で洗面の止むなき事などに因つて角膜炎トラホーム等の眼病に罹り易く、一旦眼を惡くした時は中々養生の遑もありません

戰捷の陰の斯うした勞苦を思ふ時、卓効至便のロート目藥の一壜こそは眞に適切なる贈物であります。

**●ロート目藥の點眼容器**

第一 に携帶に便利です。

第二 に使用法が簡單で、即ちキャップがあるから衛生的です。

第三 に新案特許の自動式で一滴の無駄もありません。

**●適應症**

- 結膜炎　俗に……のぼせ目
- 角膜炎　はやり目
- トラホーム　やに目
- 疲勞眼　たゞれ目
- 學校眼炎　ちかすみ目
- 眼瞼緣炎　くもり目
- 角膜翳　こり目
- 結膜充血　かわき目
- 麥粒腫等　はれ目 めぼし

**價藥**

- 小瓶 二十錢
- 大瓶 三十錢
- 徳用 五十錢
- 小兒用 二十錢

▼全國到る處の藥店にあり

山田安民藥房

# 國定忠次 (88)

長谷川伸作　岩田專太郎畫

## 大雨の前 (五) (第十四題)

雨の中を手拭で頬冠り、酒瓶を合羽代りにした忠次郎は、伊三郎の軒下を出るが否や、裏路走りに姿を消した。

伊三郎の女房おふぢが躍起となつて、忠次組師に人数を集め、三組に分ち繰出させたが、時既に遅く、いづれも手を空しく引揚げてきた。

伊三郎の女房おふぢは甲斐々々しく竹の子笠、赤合羽、蓑笠になつて外へ飛んで出て、多くの子分を指揮した。

「アブ定、中島の叔父御へ竹法螺合図で助ッ人を出して貰へ、鐵次お前は川筋へ行つて様子を聞いてこい」

泥水の花の名残りあるおふぢが手足の如く子分を追ひつかつた。

おふぢが先立ちで、雨具のないのが過半の子分十人ばかり引きつれ、通るのを見て、

「もしもし」

と、聲をかけ、ぐツしより濡れて駈けてきたのは、この土地の有力者の一人。

「はあ？」

「だれかと思つたら伊三郎さんのおかみさんか。どうもご苦労様です。こちらの方は今の処大丈夫だから、もうちッと上へ人を廻してくれまいか、何分、水が斷き切るので後から後から土俵を入れないと崩れるんで大骨折りさ」

「それ処ぢやないんですよ。こつちは、おい、みんな立停まつてゐないで早く行きな」

子分達はぞろぞろ、川へ向かつた。

有力者は不快な顔をして、

「それ処でないと、云ふが、お前さんは水防をしないで良いとでも思つてゐるのか」

「だからさ後程の旦那、水がかかりは皆さんに宜しくお願ひいたします。こつちはこつちで大變なんですよ。急ぎますからご免なさい」

水欲の折柄からいふ態待は伊三郎一家の不利になればとて、利益にならう筈がない。果して有力者はむッとして、

「さうか、ではお前さん方は勝手にするがいい。一家の私ことをたれもみんな棄てて水防にかかつてゐるのだ。いつでもこんな時に高見で見物してゐるのはこの土地ではお前さん方だけだ」

聞えよがしに罵聲を浴びせた。

「何いつてやがんだい」

おふぢはそれにすぐ應酬した。

「姐御、姐御」

通りがかつた熊大工の作事場の近所で、どこからか聲がする。

「どこだい？」

「ここです。熊大工の作事場ですよ」

姐御、親分はここへ来てなさいます

「えツ。それで？」

「水をちッと飲んだだけです。そこから廻つておはひんなさい——親分、姐御がみえました」

と、いふ聲を頼りに、せかせかはひつてきた船大工の作事場、舟材が一ぱい組みかけてある。

伊三郎が筵を敷いて、横になつてゐるのを見たおふぢは、眉間を開くと、急にそわそわして、

「まあ親分——ああ良かつた」

「何だい着物が濡れたまんまぢやないか、秋次、熊大工の家へ行つて貰つてこい。親分がここにゐるのに濡はれたにも程があるつて早くさう云つてきな」

「だけどね、姐御、親分はぎやあぎやあ騒がれては外聞が悪い、ここで少し憩んだら歩いて、こッそり、家へ帰へるといつておゐでなさるんです」

「何にしたつて濡れたまんまぢや仕様がないよ、病ひでもしたらどうするんだい」

瞼を開けてゐた伊三郎が、苦い顔をして、

「おふぢ、騒ぐねえ、見つとねえ」

「親分、よかつたね無事で。あたしやどうなるかと思つて、」聲を縮めたよ」

「なあ、伊三郎程の男が、けふのやうな目に、しかも、我が家で會つたのでは面目ねえ、若い者に厳しく口止めしなくちやならねえ」

「本當に何てことだ。ごろごろ頭数ばかりゐたつて、かういふ時に一ツぱしの役に立つ者は一人か二人だから、ほとほと、あたしや愛想がつきたよ」

「なあおふぢ、忠次はどうした？」

「命に別條はないやうですよ」

「他にはだれも怪我はねえか」

「西八、一人だけ死んだよ」

「と、忠次は逃げ終せたんだな」

伊三郎がむツくと起きあがつた。

# 費用は一呎當り六圓　戰線から四日で公開

## 事變映畫製作の超努力 (上)

最近の事變ニュース映畫が、一般大衆に關心を持たれることは想像以上で、新らしいこの種の映畫を上映しなければ、客足がばつたりと無くなつてしまふといふ

從つて各常設館ともに、このニュース映畫のより新らしいものの上映に、あらゆる努力を拂つてゐる、是まで、經營難に喘いでゐた常設館も、この波に乗つてニュース映畫專門館となつて、またそれ相當の成績を示してゐるものも、かなり相當の數にのぼつてゐるといふ

×　×

で、そのニュース映畫——

現在、日本で製作される事變ニュース映畫は東日大每國際ニュース、朝日世界ニュース、讀賣ニュース、同盟ニュースの四社である

この内東日、東朝の二社は、在來の定期ニュース映畫を製作するかたはら、事變のために新らしい部門を作つて、所謂事變ニュースを製作し、讀賣、同盟の二社は事變によつて始めて、ニュース部を新設して、各常設館に提供してゐるのである

最初に、東日大每ニュースの支那事變をいへば、北支に松本小四郎、江本寮平、橘善守、北庄雄、高間幸治、藤波次郎の六氏、上海に川口定雄、神原毅雄の二氏が、キヤメラマンとして各部隊に從軍して各々その戰況を撮影し、讀賣では樋口、佐山の兩技師が北支に、また花井、毛利、眞柄の三氏を上海に從軍させて、新鮮なニュースが得ることに努力してゐる

×　×

このために、各キヤメラマンはあらゆる危險を冒して撮影に從事し、そのために上海戰線江灣鎭附近の戰ひでは、わが軍の猛攻に潰走する支那陣地を撮らうとして、敗殘兵の流彈のために、東朝ニュース班の吉田英男が名譽の負傷をしてしまつた、これなどは全く、皇軍にも劣らぬ勇々しいニュース班の決死的活躍の現はれであらう

また、同盟ニュースでは未だとして牧島貞一が活躍し、事變ニュースとして特に國内の出征兵士の歡送場面とか、忠烈なる勇士の無言の凱旋といふ場面に、特に力を注いでゐるのが見受けられる、これは同社にとつての異色あるものである

×　×

是等の北支に上海に撮影されたフイルムが如何なる徑路を踏んで内地に送られるかを説明しよう、これは各社によつて、それぞれの相異はあるが、北支方面のものは天津で纏められて、旅客飛行機の便を借りて羽田へネガを送られる

また上海方面のものは、同地から直ちに軍艦或ひは汽船で○○或ひは○○へ輸送、其處から改めて各社の映畫課へ集中されるのである

從つて、各映畫課の手許へ來る是等のネガの數は、一日に五百フイート平均、一週間で三千五百フイート近くにもなるといふが、是等を現像して、約八百フイートのものに編輯して一回の上映分になるといふ、生命を投げ出してまでの危險を冒して撮映したものを、むざむざと暗から暗へ一回の上映すらもなしに捨て去るのは、如何としても惜しいものといはなければならない

×　×

撮影、録音(ニュース班の持つキヤメラは普通アイモで、各社とも同時録音はしてゐない)そしてそれ改めて常設館で封切される、それでも、特別に急いだ場合のニュースは、戰地で撮影された後、四日間で映寫出來るといふから、驚くへやうによればまた何と早いものではないか

このニュース映畫の製作に各新聞社の映畫課では大變な金を拂つてゐる、いま此處にはつきりした數字は差しかへるが、各社ともに少なくとも月に二万圓以上、是を一本當りにしたら五千圓、一本を八百フイートと假定すれば、一フイート當り六圓以上のものになるのである。これまでに撮影された日本映畫で、如何なる特作品でも一フイート六圓以上の金をかけたといふものはない、この一事をもつてしても、事變ニュースに對する各新聞社の力の入れかたが、ほぼ想像出來る

そして是等の事變ニュースは、在來の定期ニュースを配給してゐる契約常設館からは、サーヴィスとして些の特別使用料も拂つてゐない、從つて支那事變のために、ニュースを撮つてゐる新聞社は大なる犠牲をしてゐるともいへやう

【寫眞は北支一文字山にて撮映中の朝日ニュース田畑氏×印】——臺灣總督府許可濟——

# カナ文字ニュース

△上海戰線ノ敵ノ第一線ハ二十四日アサカラ ソウタイキヤクヲ カイシ シマシタ。ワガ軍ハ ヒルゴロニハ 大場鎭ノ一角ヲ センリヤウ シマシタ。航空隊ハ ハシヤ テッケウ ナド 敵ノ ニゲ路ニ ナル ヤウナ モノハ ゾクゾク バクゲキ シテ キマス

△綏遠省ハ コンド 南京政府カラ ワカレテ 獨立シ 年號モ 中國年號ヲ ハイシ シテ 成吉思汗紀元七百三十二年十月二十三日ト ヨビ 國旗ハ 蒙古旗ヲ カカゲル コト トナリ 二十三日カラ 實施 シマシタ

# 日露戰爭當時の劇壇 (一)　團菊歿後の寂れ

中山楠雄

明治三十七年一月、團菊の因緣ある歌舞伎座を背景にして、遂に火蓋を切られる事となり、八月宣戰の使者として日本が[illegible]學生に至るまで[illegible]て、つづいて露國コーレッ使に[illegible]の陸軍[illegible]日本は、

十月迄に露國に對する宣戰の詔勅下るに及んで、國内に異様の[illegible]ルツボと化したのであつた。そして當年の[illegible]に近づいてゐる劇壇であつた[illegible]るまい、と思はれる

これより先き團菊の三十六年には菊五郎が九月十八日、五代目團十郎が十三日[illegible]をまとめて、九代目市川團十郎が失つて[illegible]劇壇の[illegible]も、しかも、また[illegible]かけもないどん底に落ち込んだのであつた

そしてこの年八月七日、團菊と共に並び稱された市川左團次も亦、[illegible]も遠い旅路へ上つたのであるから、全く歌舞伎劇壇のさびしさは想像以上のものであつた

◇……×……◇

三十七年一月の大歌舞伎は先づ一月十四日初日の明治座で、松居松葉作「敵討天下茶屋」五幕、中幕が「石田の局」二番目が竹柴其水作で、久保田彦作の[illegible]したものとして「秋色櫻上野草紙」といふ狂言、團菊[illegible]の左團次、[illegible]、小團次、女寅といふ顔ぶれであつた

この時に場内のいろいろの改革をした[illegible]が[illegible]つてみるが、その口上書をみるとかういふ事が書いてある

「天明新案の[illegible]上出方等心得候」に對し懇切に取扱ひ[illegible]苦へてみると隨分とかした若だが來客に對してつまりポチといふ習慣が廃されたことについて「無用の御出費を省いて御安心になるやう」かつたといふ意味があつたのでなく、少しも無理はなかつたが、つづいて「飲食物は一切[illegible]出さぬ事に取極候」

實際は大して[illegible]もしないものを、どんどん持つてこられたのではたまつたものではない

その他劇場のものには定價表をつけるとか、茶屋とか若い衆は一定の服装を着る事になり、不都合の事があれば入口の役割場にどんどん投書してくれといふ至れり盡せりの改善振りであつたが、その試みにさしたる反響の無かつた事は當時として見る先者の悲しみを左團次は悲はつたのであつた

◇……×……◇

この一番目の呼び物は河竹黙阿彌の社頭暗試合の場で、背景は作者の山本芳翠の筆で、助手に北連蔵、白滝歳之助、湯澤、郎といふ當時での新進の張り切つた連中で、これが前年の川上音二郎一派の「ハムレット」の背景第二度目の新劇運出で、歌舞伎としては全く珍らしい新試みであつたのである

ここで左團次の劍客が二十人、一齊に白刃を揃つて左團次の後見久兵衞に斬つてかかると、久兵衞は左右にこれを斬倒す、この間僅に八分といふ短さで、呼吸だし、合方なく、ツケなしといふ立廻りで當時としては全く客の快感を唱ばしめる壯觀たる一大殺陣であつたのである、近年にない大當りで、十四日間を打切つたのであつた

# 映畫ニュース

★ファンは何を要求したか？

松竹が諸に現在の日本映畫ファンがスターに對してどんな役を要求してゐるか？を知り、映畫大衆の要望に添へて今後の映畫製作企畫の具體的指針に供すべく、之が懸賞募集を行つたが、大部七人女に對するその大要は、田中絹代は上海の下町娘、若奥様、川崎弘子は可憐な妻の若妻、桑野通子は近代的な女性、高杉早苗は[illegible]的な女性、三宅邦子は若い聡明なママ、高峰三枝子は理知的な近代女性、三宅邦子は[illegible]、其他人[illegible]の原作的な指定してゐる[illegible]な希望である

▲御不便を[illegible]、水道工事に邊られた小荷物の受取人不明で引渡し出來ません。至急御出で下さい(郵便局)▲郵便本局前にて四六、八ツ切判のスケッチブックを紛失されました方に謝禮を呈上(投稿者)御屆け下さいました方に謝禮を呈上▲某金融會社務は同感だ、他人に迷惑をかけて知らぬ振りしてゐる者がある(同感生)▲支那事變中の年賀狀はどんなに書いたらよいでせうか(田舎者)▲林業部上局圖は住宅、局長官邸、池の不潔な臭氣に困ります、何とか早くして下さい(附近住民)

# 臺日詩壇

魏清德　[illegible]

駱子珊　[illegible]

卓夢庵　[illegible]

林清敦　[illegible]

蔡雪溪　[illegible]

駱子珊　[illegible]

梱子清　[illegible]

謝雲造　[illegible]

謝緯五　[illegible]

林子楨　[illegible]

陳根泉　[illegible]

李逸初　[illegible]

# 商況 (廿五日)

## 臺灣正米市場前場

| 品名 | 寄 | 中 | 引 |
|---|---|---|---|
| 一期蓬萊米 | 不當 | [illegible] | 不當 |
| 二期蓬萊米 | 一〇、七三 | 一〇、五〇 | 一〇、四七 |
| 二期在來米 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 二期丸糯米 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 一期蓬萊米 | 不當 | 中 | 不當 |
| 二期蓬萊米 | 一〇、七二 | 一〇、五三 | 一〇、五二 |
| 二期在來米 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

## 大阪期米前場

| 限月 | 寄 | 中 | 引 |
|---|---|---|---|
| [illegible] | 三三、〇八 | 三三、一六 | 三三、一二 |
| [illegible] | 〇九 | 一六七 | 二九 |
| [illegible] | 〇九 | 一六七 | 二〇 |
| [illegible] | 一〇〇 | 一六七 | 二二 |
| [illegible] | 一〇〇 | 一六八 | 三二 |
| [illegible] | 一〇〇 | 一六九 | 三二 |

## 大阪砂糖清算前場

| 限月 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十限 | 二、二七五 | 二、二七一 |
| 十一限 | 二、二九五 | 二、二九二 |
| 十二限 | 二、三一三 | 二、三一二 |
| 一限 | 二、三一七 | 二、三一〇 |
| 三限 | 二、二九 | 二、二七 |

## 大阪砂糖現物

| 品名 | 値 |
|---|---|
| 三盆(OBB) | 二〇、四〇〇錢 |
| 分蜜(M30) | 二一、四〇〇錢 |
| 精製(乙) | 二一、四八〇錢 |
| 同(丙) | 二一、九〇〇錢 |
| 同(丁) | 二一、九五錢 |
| 耕地白糖(A乙) | 二一、七〇錢 |

## 大阪棉花前場

| 限月 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十一月限 | 五六、七三 | 五六、四〇 |

## 潮汐 (廿六日)

| | 滿潮 前 | 滿潮 後 | 干潮 前 | 干潮 後 |
|---|---|---|---|---|
| 基隆 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 淡水 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

## 東京國債實物前場

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 第一四分利 | 一〇一、四五 | 一〇一、四五 |
| 甲號五分利 | 一九五、九五 | 一九三、九五 |
| 乙號五分利 | 三五、九〇 | 三五九、〇五 |
| 昭和五分利 | 三五四、七〇 | 三五四、七〇 |
| 昭和六分利 | 二五四 | [illegible] |

## 東京銀行貿株

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 日銀 | 五四〇、〇 | 三六円、〇 |
| 正金 | 一九一、二 | 一九、〇 |
| 臺銀 | 七五、二 | 六二、〇 |
| 鮮銀 | 八六、三 | 二四、〇 |
| 日興 | 八五、一 | [illegible] |

## 東京期米前場

| 限月 | 寄 | 引 | 安 |
|---|---|---|---|
| 七 | 二一 | 六九 | 五三 |
| 八 | 一五 | 七一 | 五三 |
| 九 | 一八 | 七二 | 五四 |
| 十 | 二四 | 七二 | 五四 |

## 神戸期米前場

| | 寄 | 引 | 高 | 安 |
|---|---|---|---|---|
| [illegible] | 三一、七〇 | 三〇、五五 | 五七 | 四〇 |

## 東京短期前場 / 大阪短期前場 / 大阪長期前場

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 東新 | 一四五四 | 一四五〇 |
| 大新 | 八一五 | 八〇六 |
| 鐘紡新 | 三三五八 | 三三四〇 |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] |

# 臺日案內

料金　三行　五十錢 / 七行以上一行　十錢 [illegible]


書籍　最近支那大地圖　價七十錢　送料二十錢　臺北榮町一 新高堂書店

醫院　X光線新設　臺北大和町 電二二四　小兒科內科　小林醫院　隨人意院

內地土產　麻豆文旦　臺北市本町二　矢野商店　電話五一二三番

時計眼鏡　和田はメガネ專門　臺北本局前西銀通り 電六五〇番

學生優待　メガネ專門　金光堂　兒玉町電話九九八番

寫眞　寫眞機と材料のご用は　臺北市榮町　西尾商會

カメラと材料　フタバ寫眞機部　臺北市榮町二　電話七〇〇番

超スピード全島唯一の十五分間寫眞　榮町(菊元前)　[illegible]寫眞館

料理屋　壽司天ぷら　魚文　都通り　電話五五八

生そば壽司　辨金京町店　電六四九番

洋服　合、冬服地新柄　本町一 電二六二一　スミカ洋服店

紙文房具　製圖器と製圖紙　臺北本町　エビスヤ文具店

藥種商　喘息にワンカ　臺北市榮町四ノ二　服んで直ぐ效く　森田藥房

雜件　御祭禮用品　臺北市榮町　向井村

シルクハット、中山帽中折帽、禮式用ワイシャツ、ネクタイ、白、色、手袋新柄衿付シャツ　村井

薄毛厚毛シャツ商　新柄既製品　婦人新型組長クツ下　村井

子供帽子、子供服　新柄品　時局折込みの合と冬村井

婦人　スカート、ショール、スエータ、スカーフ、ハンドバッグ、女手袋其他　村井

卓子掛カーテン　座布團、クッション毛布、掛物[illegible]　村井

晴雨傘パラソル商　羽織紐、ペジャマ、ガウン　村井

貴金屬　寶石　入齒指輪[illegible]　ネクタイピン、銀製品　[illegible]村井

組立式の洋服タンス　臺北市榮町　日本家具　木工部

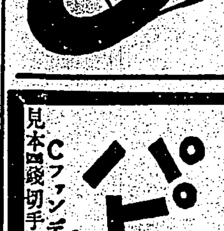
あか船產制防毒具　臺北市新世界館前　人丸室

寶戰用新軍刀あり　臺北市大和町　[illegible]

白蟻驅除は大協　臺北市本町三　電話三五四九番

サンゴ直賣加工　臺北國際館前　カネイ商店　電話六四八七番

お金儲秘書代進呈　[illegible]　別府市本町　百湯社


星名刺　印刷所へ



# 疲勞の蓄積は早老の基！

疲勞が殘ると身體は過勞狀態となります。過勞が續くと、皮膚は次第に血色が悪くなり、艶、潤ひ、彈力を失ひ、痛ましいほど皺が現れ、勿論、體力氣力共に衰へて、年齡以上に老い込んでしまふものです。

★　★　★

ところで疲勞といふ現象は、體內のエネルギーの消耗と、それに伴ふ終末產物(老廢物)の蓄積とによつて起るのです。この終末產物を疲勞素とへひます。普通の場合、疲勞素は循環する血液によつて刻々運び去られますが生成の度が甚だしくなると、その搬出が間に合はなくなるのです。

★　★　★

疲勞恢復には先づこの疲勞素を除かねばなりません。それには休息、睡眠等が必要です。休息、睡眠の間に疲勞素は漸次排除されるのです。然し、それと同時に今一つ重要なことはエネルギーの補給です。

★　★　★

エネルギーを最も迅速に補給するものとしてお奨めしたいのは良質葡萄酒——赤玉ポートワインの飲用です。赤玉ポートワインの成分中には多量の葡萄糖、果糖がありまず。葡萄糖・果糖は胃腸に着も消化の負擔を與へず急速に而も殆んど百%吸收されてエネルギーとなる優秀な榮養素です。

★　★　★

赤玉ポートワインは又、一方、血液の循環をよくして疲勞素を早く排除する働きがあり、且つ寢前には熟睡を促す働きもありますから疲勞の恢復料として、眞に至れり盡せりのものと云つていゝわけです。

## 疲勞の完全な恢復に

# 赤玉ポートワイン

# パピリオクリーム

これまで、まるで無かつたバニシングですから、おなれになるまで、やわらかくて、變かもしれません。しかし、すぐ、どうしいか分る筈です。

これ迄のクリームの半分前で使つて下さい。

A一般用(男小供も) B荒れ性用 各60錢　Cファンデーション化粧下 80錢・伊東化學研究所　見本呈　切手デパート有名店ニ有・東京麻布本村町

臺灣日日新報
日本夕刊十二頁
編輯發行人 佐々木

社説

# 非常時に備へる臺灣豫算
## 繰入金問題も最善を盡せ

一

明年度臺灣總督府豫算案は、小林總督の所謂「戰時財政を經常に」内閣三原則を繼承……」として閣議上げられ、即ち物足らない點もあるが、官民の希望に對應し財務局長之を携行、既に臺灣の地を離れた。然し豫算の編成は特別會計と雖も大藏省に於て査定するから、右の案も事實上拓務省を通じての要求案に過ぎない。從つて今後月餘に亘つてなさるべき折衝により、十三年度總督府の政治經濟目標の方針が豫算の上に於て決まるのである。吾等は財政上からも積極的立場を上く確保し、來年度豫算編成上、有終の美を收むるに至らんことを期待したい。

二

豫算案内容は當局が極力秘密にしてゐるので確たる所を知る由はないが、豫算總額の如きも一般會計繰入金の關係でアルファ付ながら本年度以上に達すること必至、又新規事業の如きも戰時體制下に拘らず土地の特殊事情に即して相當多數に計上されてゐる模樣だ。先づ當局期待のものとしては國民防衞、防空、警備に關する新施設、交通通信機關の整備、鐵路充實、肥料、燃料等重要資源開發、米穀政策、或は國民精神作興の如き文教文化施設を頭略にせず、府政調査會答申の重要件案も一、二頭を出してゐることは注目すべき所である。

三

尚ほ產業關係外の特色として、工業試驗所設置への着手、本島たるべき府立工業試驗所と、島内商業經濟の幅を擴げ繁榮への途を拓く米穀取引所が結束されんとしてゐることは、多年の要望に副ひ吾等の喜びに堪へない所であり、來年度豫算の双壁として民間側の歡迎を受ける所だらう。然し一方に於て西部縱貫鐵道複線の建設、特急運轉、第三埠頭の建設、南部への新規命令航路開設、等々が重要件を認めたい。

四

最後に十三年度豫算に就て最も注目される所は、一般會計への繰入金問題である。之は事局既に國家の運命を賭する時下にあり、國庫會計が二十億の赤字を忍んでゐる此際なれば、要求される迄もなく許す限りの負担は歩み進んでなすべきが當然である。然らば幾何程度まで踏入るべきかといふ事になるが、臺灣の財力に限度がある以上、分擔額にも自づから限度あり、又調和点も無くては叶ふまいと思ふ。即ち特別會計の妙味を減殺する樣なことなしに、能ふ限り多く負擔したいのが念願である。故に大藏當局も總督府側も、此問題を以て財政技術上の駆引として爭ふ様なことなく、互に其の立場を認めて善處するやう望みたい。

# 大場鎭に肉薄
## 皇軍、決河の勢ひで
## 四、五百米迄猛進

【上海二十五日發同盟】二十三日猛撃を開始した○○部隊及び○○部隊は空爆砲撃の掩護下に決河の勢ひをもつて進撃し二十四日早くも大場鎭の街を東西に流れる走馬塘クリークの北側へ殺到し大場鎭西北方約四、五百米の童江宅、南陳宅及び洛河橋、東木橋、施宅の線よりクリークを挾んで地軸も裂けんばかりの猛攻を續けたが八房宅方面の○○部隊は二十四日夜一氣にクリークを渡河二十五日朝來南岸の張宅、北張村に迫つた

# 敵陣に爆彈の雨

【上海二十五日發同盟】海軍航空隊今村千田兩主力部隊は二十五日午前七時より夕刻に至るまで全力を擧げて陸軍部隊の追擊戰に協力して大場鎭西南方の楊家橋、胡宅、殷家濱、李宅等敵主力後方陣地に多くは二十數回、少くとも十九回に亙る反復大爆撃を加へ徹底的にこれを潰滅し、更に敗走する敵の集結地點たる南翔、虹橋鎭、眞茹に巨彈の雨を降らせ南翔、虹橋鎭は何れも大火災を生じ炎焼中である、又一部は敗走する敵を追擊して低空地上射擊を浴せ文字通り屍の山を築き大損害を與へた

# 陸戰隊猛進擊

(上海二十五日發同盟) 陸戰隊左翼土師部隊は二十四日夕刻までに佐藤部隊が蘇司克而路上より常*合後方を突破して○○米を進み更に續いて堀田部隊も廿五日午前六時三十分頃より行動を開始し虬江路と虬江枝路に挾まれる同部隊第一線陣地を蘇司克而路の線に進め正午頃進出作業を略完了した、この進出戰にて敵は虬江路廣東倶樂部方面より猛烈に機銃、小銃彈を浴せ來つたが土師部隊は勇躍これを排して約○○米進擊した、これに依り左翼方面はパンテオン敵陣地間近に迫り北停車場まで僅かに數百米を餘すのみとなつた

# 商學院陣地を占據

(上海二十五日發同盟) 陸戰隊多田野部隊は陸軍谷川部隊と協力して今曉來行動を開始し復旦大學の後方に在る商學院の敵陣地を攻擊午後三時之を占據した

# 各部隊が猛進擊

【上海二十五日發同盟】軍報道部午後四時發表
一、谷川部隊は午後零時二十分江灣の南方商科大學を占領、更に江灣鎭に沿ふ地區より北進して江灣鎭地帶を猛攻中なり 二、上海市道西側地區より敗敵を急追中なり○○部隊は午後一時過ぎ大場鎭北方約五粁の洪家橋、姚宅東西の線に進出し續いて大場鎭の敵を攻擊中なり 三、○○部隊は午後零時廿分走馬塘クリークを渡つて南進、潘宅橋毛東西の線に進出、○○部隊は仙師廟、南張村の線に進出續いて敵を南方に壓迫中なり

# 中研を解體して
# 新研究所を創立
## 農業、林業、衞生、工業四部が獨立
## 來年度豫算に計上

過去三十年間に亙つて本島產業の開發の上に又衞生分野に偉大な足跡を印した唯一の綜合的試驗研究機關たる中央研究所も時代の要求する事情の變化就中台北帝大の設立等に鑑みその機構を合理的に改革し、より實際に適せしむべしとの要求が早くから起つて居たが小林總督着任以來工業台灣の建設の方針が確立、中央研究所の使命が益々重加されるに至つた結果これが最高の機能を發揮せしむる上には果して現在の研究所の機構が最上なりや否やが當局の間題として取上げられ府政調查會に於ては各委員より種々の意見が提出されたが結局綜合的試驗研究機關にも其の長所は有るがその反面に往々實際を遊離した原理的研究に走り過ぎる弊が無きにしもあらず綜合的機關としての特徵を發揮せしめると共に必要な研究に亙つて精鋭しうる人が容易に得難いこと、特定の部門を獨立せしめる必要があつても實現が難しい事等の難點がある爲に

研究所を分離獨立せしめる事に意見の一致を見たので來年度に於て現在の四部を分離し農業部を農業試驗所、林業部を林業試驗所、衞生部を衞生研究所、工業部を工業研究所(何れも假稱)として各々獨立した研究機關とする事に方針を決定し獨立後の配合は農業研究所と林業試驗所は現在既に獨立した建物があるのでそのまゝとし衞生研究所は今の研究所を使用し殘された工業研究所だけを新營する事として之に要する經費百十七萬円と分離に要する經費二万餘円が明年度豫算に計上された、尚衞生研究所は東京帝大にける傳染病研究所の如く帝大附屬の研究所とする豫定で現在衞生部附屬のマラリヤ實驗所等も同時に擴張し熱帶病醫院として内容も充實せしめる事となる模樣である、斯くて永き傳統を誇つた科學の殿堂中央研究所も愈々來秋頃迄には台灣より姿を沒し代つて專任所長を戴く各個獨立の四つの研究所が誕生する譯である、總督府では分離による内容の低下を極力防止するため各研究所の内容充實につとめ力を入れる方針で差當り昨年度に勅任技師二名の增員が計上された、將來は現在十名の技師を二十四、五名位まで增加する意氣込みであり夫と同時に分離後も綜合機關としての特徵をも採り入れる爲に長官を會長とする常設の

委員會

を設置し各機關相互に協力し合つて研究の打合せ等にも遺憾のないやう緊密な連絡をとる方針であり一方各研究所は上下の關係に於て各地に在る支所州廳立の試驗場等とも十分な連絡を保ち指導を怠らず各機關を總動員して本島に於ける科學振興の上に十分な役割を果す事となつた

# 粤漢線を爆擊
## 空軍各鐵路を襲ふ

(香港二十五日發同盟) 二十五日午前八時十分わが海軍航空隊○機は新寧鐵路に爆擊を加へ更に同九時三十分○機は粤漢線湛江、英德、韶關に爆彈を投下して引揚げた

## 三鐵路を空襲

【香港二十五日發同盟】わが海軍航空隊は二十四日も午前八時から粤漢、廣三、新寧各鐵路に同時に出現、粤漢線には○機より成る編隊を以て英德以南の各驛鐵路に爆擊を敢行し廣三鐵路上には○機が現はれ佛山附近を爆擊し新寧線は台山驛に再度爆擊を反復し其他にも多大の損害を與へて全機無事歸還した

## 敵部隊を空襲

【上海二十五日發同盟】わが海軍航空隊は二十四日に引續き二十五日も早朝より大舉上海近郊の敵部隊を空襲し大場鎭、江灣鎭、南翔、松江、崑山方面の敵に多大の打擊を與へた

## 南金宅奪取

【上海二十五日發同盟】大場鎭に向つて突進する隈田部隊は破竹の勢ひを以て二十五日午前十一時大場鎭北方の要地南金宅の敵陣地を破り更に張宅(大場鎭北方一粁)の敵に向ひ攻擊中

# 戰爭回避の爲めに
# 全力を盡すべきだ
## 米のラモント氏が力說

【シカゴ二十四日發本社特電】モルガン財閥の大番頭として米財界に重きをなすトーマス・ラモント氏は二十三日シカゴに於て極東問題につき對日強硬論を唱ふ好戰主義者をいさめ左の如く力說した
今や世界は重大危機に直面してゐるが戰爭を欲する者は誰もいないだらう、輸出禁止ボイコット制裁等は何れも形を代へた戰爭で之を課せられた國民を刺戟し團結せしむるに過ぎない、若し英國が對日制裁を行ひ日本が其報復手段として支那に於ける英國の鐵道及び產業を破壞し香港へ進擊した場合英國は之に抵抗するだけの海軍力を極東に持たないが米國は英國を援ける爲めに海軍が英國に與る樣な事は恐らくしないだらう、米人は外國の紛爭に捲き込まれる事なく戰爭回避の爲めに全力を盡すべきだ

# 朝霧を衝いて
# 大膽な敵前行動
## ○○部隊は○○へ一粁

【上海戰線前線田宅二十五日發同盟】上海北部戰線に赫々の武勳を樹てた○○部隊は二十四日四粁前進し○○○南側を越えて○○クリークの戰線に達したが二十五日早朝朝霧を衝き咫尺を辨せぬ所を合言葉をもつて大膽なる敵前行動を開始した、目差す○○は既に一粁範圍内に在り全部隊將士の意氣將に天を衝くの槪がある

# 敵心臟部に殺到
## クリークを强行渡河

【劉家行に二十五日發同盟】敵の最後の拠點を突破し○○クリークの一線に待機することと數日、滿を持してゐた我軍は二十五日早曉雲に乗じて敵陣を衝いて敵陣の心臟部を目差し一擧に進擊を開始した、午前八時早くも○○クリークを强行渡河、猪突する敵を急追して蘇州の全面に向つて殺到しつつある

# 江灣鎭の占領は目睫

【上海二十五日發本社特電】谷川部隊は廿五日午後一時二十分江灣鎭の南方商科大學を占領淞滬鐵路に沿ひ引續き猛擊中である、江灣鎭の占領は今や目睫に迫つた

## 徐宅に殺到

(馬橋宅二十五日發同盟) ○○部隊は朝來空爆、砲擊掩護の下に走馬塘クリークを渡河し蔡家倉宅附近の敵陣地を突破し午後二時一氣に大場鎭西南の徐宅に殺到し川並部隊は午後三時渡河を開始し談家、梅園を確保し士氣大いに揚つてゐる

# 敵毒ガスを北支で使用

【天津二十五日發同盟】二十五日午後四時三十分軍司令部發表 忻口鎭一帶の敵はわが猛攻に逐

## 敗走兵追擊

次第追せられつつありしも二十五日早朝突如瓦斯彈を使用し、逆襲し來れり、わが第一線部隊は直ちに防毒の處置をなしてこれを擊退せり

【上海二十五日發同盟】○○方面より大場鎭に迫る○○部隊は二十五日未明朝霧を踏んで進擊、午前九時頃早くも大場鎭へ一粁の○○を占據、○○部隊も之に續いて午前九時○○○を陷れ又○○部隊は死物狂ひに抵抗を試みる前面の敵をひた押しに壓迫し大場鎭目差して將兵共に士氣大いに擧り敗走する敵を猛追擊中である

# 皇軍の新考案
# 水上陣地
## クリークで猛威發揮

【上海二十五日發本社特電】廿四日來總攻擊を開始した我軍は今早曉引續き猛攻を續行○○部隊は早くも走馬塘クリークを越え○○部隊は大場鎭及びその東側に向け猛進して居り更に○○部隊は○○方面に肉薄中であるが同部隊が準備中であつたクリーク水上突進隊は漸く完成その猛威を百パーセント發揮して頑敵に多大の損害を與へつつある、この突進隊は同隊獨特の考案によるもので支那民船二艘を並べそれに特殊のプロペラ式推進機を取つけ快速艇に改造したもので船上には土嚢をめぐらし機銃が物凄く並べられた水上陣地である一方谷川部隊は昨日の復旦大學占拠に引續き天宗寺方面と跑馬場南方から江灣を包圍活躍中で同地一帶の敵の變態は近きにありと見られて居る地上部隊の此猛攻擊に呼應して陸海空軍は早朝來閘北後方陣地に爆擊を敢行中で敵の動搖は益々激しい

## 日獨大使會談

【上海二十五日發同盟】駐支ドイツ大使トラウトマン氏は二十五日午前十一時川越大使を官邸に訪問約一時間に亘り重要會見を遂げるところあつた

# 南阿に公使館を新設

【東京二十五日發同盟】獨れて政府においては帝國と南阿聯邦との間に現存する友好關係の維持强化を圖るため南阿聯邦に帝國公使館設置の希望を有してゐたが過般來南阿政府との間に右設置に關する交涉を進めてゐたところ先方の同意を得たので愈々本月二十五日より右帝國公使館を南阿プレトリアに開館することとなつた、尚政府では南阿駐箚公使任命に必要な諸準備を進めつつあるが右公使任命までには相當時日を要するので現ケープタウン駐在領事太田知庸氏を二十五日附をもつて公使館一等書記官に任命し専任公使の任命を見るまで代理公使として兼務せしめることとなつた

外務省辭令【東京二十五日發同盟】外務關係辭令(二十五日附)
任公使館一等書記官 領事 太田知庸
南阿在勤を命ず

# 宇垣參議が首相と會談

【東京廿五日發同盟】宇垣内閣參議は二十五日午後零時五分首相官邸に近衞首相を訪問、午餐を共にしながら支那事變を中心に約二時間に亘り種々重要意見の交換を遂げ同二時辭去したが首相との會談について大要左の如く語つた
首相を訪問したのは事變に關して自分が聞いたり考へたりしたことを首相の耳に入れただけで支那事變のことも北支のことも話をはじめ他の方面について話合つたが内容については話せぬ今後も必要に應じ會談する

# 暴利取締令
## 適用品目追加

【東京二十五日發同盟】商工省では輸出入品に關する臨時措置法實施に基く輸入制限に關係する物價暴騰を抑制するため商工省令第十二年商工省令第十號「暴利取締令」を改正左の適用品目を追加し二十六日の官報で公布即日實施することになつた

追加品目

△金屬製品(刃物、フォーク、スプーン等)
△石綿製品(スレート等)
△煉炭
△羊毛以外の獸毛(山羊毛、駱駝毛豚毛等)
△綿物以外の布帛及びその製品(毛布、天幕、防水布等)
△油脂製品及び調製蠟燭類(石鹼蠟燭等)
△鳥獸肉、鳥卵、バター、紅茶、珈琲、その他の穀物以外の飲食料品
△木材(建築材料以外のもの)

# 下條總裁が辭任

【東京二十五日發同盟】政府は今回下條資源局總裁が後進に路を拓くため辭任することになつたのでその後任として長貴族院書記官長を起用することになつた、尚貴族院書記官長の後任は現貴族院書記官瀬古保次氏を昇格せしめる方針で來月二日の閣議に附議、正式に決定する筈

## 對滿事務局次長に原邦道氏

【東京廿五日發同盟】青木對滿事務局次長の企畫院次長轉任に伴ふ後任は廿五日左の如く發令された
任對滿事務局次長(一等) 東京税務監督局長 從四位勳四等 原邦道

## 瀧總裁議員辭任

【東京二十五日發同盟】瀧企畫院總裁は二十五日午後衆議院に田口書記官長を訪問し衆議院議員辭任の手續きを執つた

## 松井資源局長官が帝燃副總裁に就任

【東京二十五日發同盟】松井資源局長官は二十五日企畫院創設に伴ふ資源局官制廢止に依り自然廢官となり退官したが近く帝國燃料興業副總裁に就任する筈

## 企畫院官制公布

【東京二十五日發同盟】企畫院官制並に同院新設に伴ふ諸勅令は二十五日公布即日施行された

## 人事

▲中川雅美氏(屏東郡守) 二十六日基北發赴任の豫定であつたが令息病氣のため二、三日延期
▲金澤冬三郎氏(日糖常務取締役) 江木作業課長、山崎支配人、營業課長と共に二十五日内尾へ

## 天無口

實施手續進行の途中で事變にぶつかつた防空法は、これに依つて更らに大車輪の馬力がかけられいよいよ來月一日から實現を見る運びになつた▲これで總督府内務局には新に一課が設けられ、之を所管するのであるが、此の機會に同局では防空都市計畫も此の中に入れること になつたらしいが、さうすると現在地方課の所管になつてゐる兵事事務をもその中に入れてはとの議論もある▲さういふ事になればその課は大體に於て兵事全般を包括する大課となるが、そこは細心の上にも細心の心遣ひで仕事を進める山縣内務局長のこと、各方面から見た利害と能率と從來の關係とを研究の上にこれが決定をなしてゐる模樣▲それからもう一つ、同じく新法に依つて總督を會長、總務長官を副會長とする「台灣防空委員會」なるものが出來るが、これには、首府、軍部、民間から合せて二十名の委員で總督の案諮に依り内閣より任命されるといふ頗る嚴重なものである、軍から六名、民間二名でその手筈はすでに進行中▲我らが左翼の猛烈な攻擊に依る支那飛行機のあり樣ない無樣の樣を見て、あれならもう大丈夫だ、ナンといふ安心が市街に行渡つてゐるのであるが、空襲は支那と限つたものではなく、何時如何なる時にも起つて得べく、また國家の防空機を固めて置かねばなるまい。

# 消化障碍とタカヂアスターゼ

## 消化障碍は

獨り胃腸病のみでなく、種々なる疾患時に隨伴し、食慾不振、榮養障碍等の惡影響を招來する。

タカヂアスターゼは、消化液たる唾液、膵液中に存在する殆どすべての消化素を含むのみでなく、纎維素、硫酸塩、燐酸塩その他に作用する十餘種の消化素を含み、今や既に四十年に垂んとする貴重なる實驗と臨牀經驗とにより、あらゆる場合の消化障碍時に之を與へ、消化を助け、食慾を增し、榮養を佳良ならしめる效の顯著なことが承認されてゐる。

タカヂアスターゼは一般麥芽性ヂアスターゼとは、その原料、製法を異にし、品質に絶對的の差を有つものでありますから、混同せられないことが特に肝要であります。

(說明書御申越次第進呈)

粉末、錠劑各種

東京・室町
三共株式會社

# 依然躍進を續け 貨客共に激增

## 上半期…內臺定期航路

內台定期航路昭和十二年度上半期は年度當初の飛躍的躍進を續け航路開始に漸々しく第一歩を進め、すこぶる順調に增加の一途を辿つたが時局の影響は八月末より航海數の減少となり、ここに一大

**難局に** 當面した、しかしながら船會社懸命の努力はついに船腹不足をもつてしても貨客の增大なる數量を捌き、貨物に於ては往航十九万六千四百五十二噸、復航十四万六千五百四十九噸合計三十四万三千噸を輸送し、前年同期に比して往航四万千五噸、復航二千五百二十噸の增加を示した

**乘客の** 增加は殊に目立ち往航合計四万二千五百十七人、復航三万七千九百二十八人で前年同期に比し二割一分の增加を見た、乘客は往航三万六千百二人、復航三万七千九百二十九人でこれを往航二千二百五十八人に比し往航は七分の增加を示した

增加は殊に自然增と航空路開始による內台間の時間的距離短縮に依るものであり、貨物は自然增の他に門司基隆間時間の延長が相當大なる原因をなしてゐる、客貨及び各航別數量を示せば左の如くである

| 貨物（單位噸） | | | 前年同期比增（△は減少） |
|---|---|---|---|
| 近郵 | 往 | 一〇七、五四〇 | 二三、一七七 |
| | 復 | 六七、三三六 | 二一、六〇一 |
| | 合計 | 一七四、八七六 | 二七、四四〇 |
| 商船 | 往 | 八八、九一二 | 一六、二三八 |
| | 復 | 七〇、二一三 | △一、〇〇一 |
| | 合計 | 一五九、一二五 | 一五、二二八 |
| 乘客 | | | |
| 近郵 | 往 | 一七、三一七 | 三、九九一 |
| | 復 | 一九、〇〇〇 | 一、八三一 |
| | 合計 | 三六、三一七 | 五、八二二 |
| 商船 | 往 | 一八、九五九 | 一、五一四 |
| | 復 | 一八、七六九 | 一、〇九一 |
| | 合計 | 三七、七二八 | 二、六〇五 |

# 二期在來米の收穫豫想二百卅萬石

## 作柄は全島的に良い方

全島二期在來米の植付面積は十九万二千四百九十甲で前年同期に比し一千二百五十五甲の減少であるが、本年の調査方法は例年と違つて畦畔を控除したから實際の植付面積は昨年より若干多い模樣である、移出米商組合の算出した收穫豫想は二百三十九万六千二百十五石で前年と大差なき見込である、作柄は良好である、州下の在來米は來月の初めになれば出盛りの見込である、蓬萊米は在來種より約十日間遲れて西海岸地方は來月七旬頃北部は來月中旬から收入れる豫定で、過日の風害は北部は極く一部分の浮塵子被害と去る十六、七日に亙つて中南部の烈風で相當被害があるから實收は二百三十万石內外ではないかと見られてゐる

# 砂糖運賃は仲々纏らず

## 双方歩み寄に落着くか

【神戶二十五日發本社支局特電】砂糖運賃改正に當り引續き船會社側と糖商の間に折衝が行はれてゐるが、船會社側は商、郵、辰馬ともに歩調を一にして八十五錢說を固持し、糖商も現狀を考慮して六十五錢を稱へ双方自說を固執して讓らず船會社側は八十錢、八十一錢と强硬でいつ纏まるとも判らないが、結局双方より歩み寄り七十五錢に落着くのではないかと觀測されてゐる

# 杉原產業總會

## 廿五日神戶で開催 二分增の五分配當

杉原產業第一回定時株主總會は二十五日午前九時より神戶市神戶ビル內同社神戶出張所にて社長杉原佐一、專務取締役非出松太郎、同杉原清一郎、取締役米田吉男、監査役飯島大惠作、同本地孝一郎の全役員以下株主十數名出席、創立の營業報告を終り十一年十月より十二年九月末日に至る今期の營業報告の後左の如く決算報告、利益金處分の件（二分增の五分配當）を滿場一致可決し十時散會した

◇營利決算
營利總收入金 三〇五、二五四、三五三円
營利總支出金 二四〇、四三六、七七〇
差引營利金 六三、二〇一、七五六

◇利益金處分
前期利益金 二三、一五六
前期入繰越金 一、八二二
合計 二五、九七九
內
固定資產償却金 一一三、八〇〇
差引當期利益金 九八、七九九
法定積立金 五、五〇〇
別途積立金 五、五〇〇
退職慰勞基金積立金 五、〇〇〇
役員賞與金 五、〇〇〇
株主配當金（二分の增の年五分） 四五、〇〇〇
之を處分すること左の如し

# 北部在來米出初まる

## 出盛りは來月上旬

臺北州下新莊、板橋、宜蘭、羅東方面の二期在來米は下旬に這入つてからチラホラ出廻つて居り、米價は仲々上昇で臺北購渡消費米百五十斤袋積新莊渡十二円六十五錢、宜蘭着十二円二十錢と

# 滿洲林檎の獨舞臺

## 總督府へ輸入申請殺到

本年の東北地方及び北海道方面の內地林檎は非常な不作のため滿洲林檎が獨り舞台の觀を呈するに至つた、台灣への輸入も本年は滿洲產に主力を注ぐ模樣で、昨今總督府に對し輸入許可の申請が毎日殺到してゐる有樣である、輸入業者は青果會社、中央市場等で、總督府としても適當に按分された輸入許可規則を運用して之を許可する方針である

# 高雄州下の二期蓬萊初檢査

## 品質は頗る良好

【高雄電話】高雄州二期蓬萊米の初檢査は台南州產米に對し內地消費地の苦情高出して居る折柄米界人の注視の下に廿五日午前屏東に於て午後は高雄の二ヶ所に於て舉行された屏東の方は受檢數二百五十袋で潮州郡內埔庄から出廻つた二百十一袋は全部二等に屏東郡長興庄から出廻つた三十九袋は四等に合格した前者は高雄十號種にして前年二期の走り米に比し形大きく光澤品質共に申分なく台南州米を遙かに凌駕せる出來榮である、後者は高雄六號か七號種かと見られ外見惡く胴割り多かつた為め四等に決定された右に關し岡田高雄米穀檢査所高雄支所長は語る

米穀檢查所高雄支所長は語る 從來にない好成績であつた粒形光澤乾燥調製とも申分なく實に素晴しい出來ばへである之を以て本期の高雄州米作柄を豫想するのは尙早かも知れないがこの調子では平年作と見て大丈夫である

尙高雄の方は受檢數四十八で午後二時半より台高運輸會社米穀倉庫に於て檢查を為したが之も頗る良好の成績を示した

# 熱帶有用植物の寶泉（一）

## アルボレタム

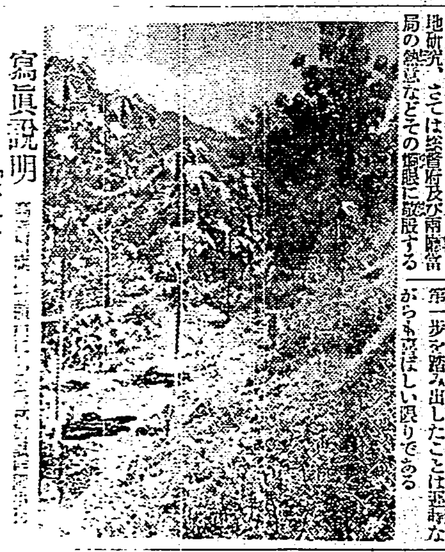
### 南西臺灣に寶庫あり

臺大大學院 佐多長春

台北帝大の大學院學生佐多長春學士は理農學部園藝學教室にあつて田中長三郎博士指導のもとに研究を續けつゝあるが、今回東部及び南西部台灣に調査した結果閑却されたる南西部と熱帶有用植物の寶泉としてのアルボレタムの大使命と題する左の如き一文を寄せた

## 企業熱澎湃たる東部臺灣

その昔、流罪の地としての閑却を續けた東台灣は今や豐明なる企業熱を盛りとして開拓されつゝあり…



寫眞說明 （バルサ・コルク…）

## 閑却せられたる南西部臺灣

然し著者は茲に、當代に於ても尙比較的に閑却されてゐる南台灣の低平地より山間地一帯に緑樹林を中心とする南部地…

## 植產業

第一章 …

台大農學部農業經濟學教室の奧田教授を首班とする山地開發の實地研究、さては總督府及び南部當局の熱意などその開發に邁進する…

# 內外商況欄（廿五日着電）

## 米期 依然買氣薄 殆ど膠着狀態

### 堂島米況前場

【大阪二十五日發同盟】休日明けの市場は東京安に買氣薄く先限は三十一円五十二錢と氣迷く寄付き三十一円五十錢まで下押したが當限高に牽制され五十九錢と下押し四錢まで盛返し共保合で引けた

### 堂島米況後場

【大阪二十五日發同盟】後場は前場の整理商内が主なもので格別見るべきものなく當、中限小締り先限は三十一円五十六錢と二十一寸高に寄付きその保付き五十五錢と緩み引値も五十五錢と突張つて引けた

### 堂島雜觀

【大阪二十五日發本社特電】昂進は買主全部解合ひ一時米から手を引く模樣▲東京保括りに對し受けると

## 東京市中コール

【二十五日本社特電】

| | 安値 | 高値 | 標準 |
|---|---|---|---|
| 翌日拂 | 〇・四〇 | 〇・五〇 | 〇・四〇 |
| 月越物 | 〇・四〇 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |

## 日銀帳尻（單位千円）

【二十五日本社特電】

| | | |
|---|---|---|
| 發行高 | 一、五六八、五二〇 | |
| 正貨準備 | 八〇一、〇〇一 | |
| 預金 | 三四〇、一一二 | |
| 貸出 | 六五一、九〇八 | |

## 糖砂 外糖安年ら小締り

【清算】【大阪二十五日發本社特電】外糖安年ら株高をうつし小口前れに四、五錢は戻だがあと現物の仲介薄に活氣薄ぽんやり引けた

【現物】【大阪二十五日發本社特電】分蜜は反落に供へて買氣薄伸び悩み、精糖共當手買ひのみに保合ふ

### 大阪砂糖清算後場

| | 前 | 後 | 引 |
|---|---|---|---|
| 十一月限 | 一二五 | 一二四 | 一二三 |
| 十二月限 | 一二七〇 | 一二六五 | 一二六三 |
| 一月限 | 九〇 | 八五 | 八三 |
| 二月限 | 三〇九 | 三〇七 | 三〇三 |
| 三月限 | 一三一 | 一二〇 | 一二三 |
| | 二一八 | 一一八 | 一一八 |

# 米界餘聞

【大阪二十五日發本社特電】先限再び倒みに反し當限稍歩高に出る小口買の商談に引込み、二十五日の取組みで前期大した之は小口の賣物で尙四万石位の殘りの整理が急に二四万石以上の賣物を取る態度しく出して對手を頑れ上げで捕ひ出入に對して引取る氣配だ…

【大阪二十五日發同盟】現狀は双方の見送りに整理商內の外見るべきものもなく期近は保括り說に新高値と踏み上げしも先限は保括り説に期近の成行を注視されるとともに成行を注視され…

## 大阪期米後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 一 | 三一、七五 | 三一、七六 |
| 二 | 三一、二七 | 三一、二七 |
| 三 | 三一、四〇 | 三一、四〇 |
| 四 | 三一、三三 | 三一、三五 |
| 五 | 三一、五五 | 三一、五五 |

## 東京期米後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 當 | 三一、三五 | 三一、四〇 |
| 中 | 三一、六〇 | 三一、五五 |
| 先 | 三一、九四 | 三一、九六 |

## 神戶期米後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 當 | 三〇、七八 | 三〇、七一 |
| 中 | 三〇、八〇 | 三〇、五八 |
| 先 | 三〇、七七 | 三〇、七七 |

## 各地期米引跡氣配

大阪 三一円五四、六錢

## 各地正米

東京 一一、一〇錢安

### 大阪正米標準値

內地中米 三三、五〇 朝鮮中米 三三、四〇
蓬萊米 二三、〇〇 在來種 九、一

### 東京銘柄清算前場

▲一期蓬萊米
中限 二一円四〇錢 引 二九錢
先限 二一円三八錢 引 三四錢
▲二期丸糯米
先限 二三円一八錢 引 二〇錢

# 一、二、三月渡硫安 高雄沖百十圓唱へ

## 帝農は公定相場に反對

【高雄電話】販賣肥料又はプール組織を繞り前途を稍々悲観視されてゐる台灣の硫安界は公定相場の發表を見て先急な商人は早くも安定を見越し次第を破り明年一、二、三月渡の先物取引ボツ〳〵行はれ台灣沖渡當り百十円で商談まりつゝある模樣であるが、二十五日臺灣道に次のから電により七月決定當時より原料、賃料とも騰貴しないとの理由で今日の高値決定に甚しく不滿であり政治的行動を起す模樣

との言報ぜられ內地の硫安界は向混沌として落着く所を知らない事實が明にされ當業者を當惑せしめてゐる、即ち帝國農會の主張によれば公定相場三円七十二錢は低りに高過ぎ原料延に以から採算してみれば不當の高値となるのである、內地の二円七十二錢に運賃を加算して台灣沖渡當に換算せば百三円二十錢が丁度良い所となるので目下行はれつゝある沖渡百十円は帝國農會の主張に照して見るまでもなく非常な暴利といはねばなるまい

# 新竹農試の水稻考照試驗

新竹州立農事試驗場に於る九月八日の白露節より十月九日の寒露節に至る水稻考照試驗の結果は左の如く發表された

本期間における氣象狀況は平年に比較して氣溫高く日照時數多く降雨量は少なかつたが概して順調な天候であつた、稻の生育狀況は十月九日の調査によると平年に比べて在來種種では草丈一〇・六四高く一株莖數四・〇本少く在來稻種では草丈一二・〇四高く一株莖數は一・八本少く內地種では草丈は變りなく一株當莖數は一・五本少かつた、出穗期は內地種地は九月廿二日在來種及び內地種伊豫仙石號は九月二十日、十月一日、在來種稻は十月七日で平年に比較すると在來種稻、在來種糯一日早く內地種は二日遲かつた

# 丸糯蓬萊保合

【神戶二十五日發本社支局特電】保合圈へ漸く入つた十二月十二日限丸糯は休日明けの今日も十二円十錢と變らず蓬萊も保合保敲

糧食市場の相場は一般に良好である、臺北の在來糧の相場は二十日から二十五日迄は千斤六十五円、蓬萊糯は十九日から二十二日迄は七十二円、二十五日は正市の軟化を入れて六十九円の唱へである

# 中山氏正市當託に決定

【基隆電話】…市場では廿五日午後三時より同市場事務所會議室に於て貝山理事長、黃金生以上評議員八名出席して評議員會を開催米穀問題につき意見交換の後、前正市場事務理事中山勇次郎氏を高級顧託に招聘することを決定して四時半散會した、中山氏は米穀代行會社側の高級顧託正式決定と共に來月一日より兩者の高級顧託として敏腕を振ふこととなつた

# 島內商況

## 正市 丸糯崩落

### 蓬萊も下押

（基隆）二期蓬萊米は賣りなるも丸糯安を繰め小口利喰急ぎに十二方安となりアト現物取りに利喰に小戻りとなつた

▲二期丸糯米は期米賣りなるも遞讓商米輸入許可說に天候良好と相俟つて期近は崩落、一派の恵投げ沸々現で眺めて軟化の連續に…

## 基隆正米市場後場

▲一期蓬萊米 ▲二期丸糯米

| | 限 | 中 | 先 |
|---|---|---|---|
| 寄 | 二〇、七九 | 二〇、五八 | 不 |
| 引 | 二一、一二 | | |

## 臺中米價（二十五日）

## 臺南籾相場（二十五日）

| 品種別 | 最高價格 | 最低價格 |
|---|---|---|
| 丸糯一期 | | |
| 白穀 | 六〇、〇〇 | 六〇、〇〇 |
| 清油 | 一四、二〇 | 一四、〇〇 |
| 早香 | 一三、五〇 | 一三、〇〇 |
| 蓬萊 | 一四、〇〇 | 一三、〇〇 |
| 長糯 | 一六、〇〇 | 一六、〇〇 |

# 穀肥 大阪砂糖現物

△分蜜TAB 一九〇 △TEA △一九三 △DSA 一九三〇 △MS 二二八〇 △臺灣白糖A 二一〇 △再製二一四〇BB 二〇〇 △黑糖玉三號〇 一五〇

## 神戶豆粕前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十月限 | 五、一〇 | 五、〇八 |
| 十一月限 | 一二 | 一〇 |
| 十二月限 | 五、一二 | 五、一〇 |

## 神戶豆粕後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十月限 | 五、二二 | 五、一一 |
| 十一月限 | 一〇 | 〇五 |
| 十二月限 | 〇五 | 〇三 |

## 神戶硫安相場

日本窒素物三三、九〇買 三、八〇買
朝鮮ハラ物一一〇買、一〇〇買

## 下關麥粉相場

極ダイヤ印四、六五 富士四、六五

## 大連特產取引前場

| 大豆現物 | 寄 六、四〇 | 引 六、四五 |
|---|---|---|

## 大連特產出來高

大豆 四〇〇車 八〇〇車
豆粕 一万枚 三万一千枚

## 大連特產在荷高

大豆 一九六車 八五八車
豆粕 一九車 五万一千枚

## 大連特產況前場

【大連二十五日發同盟】休日明けの大豆は前日來の外電好況と現地の天候良好に弱がつたがアト那商一部に買ひ見送りに寄付け十錢安へに反騰して引けた大豆は出內外下放れたがアト那商一部に買物あり一齊高値に引けた豆粕は商內稀富であつたが油房賣り那商買ひで油は氣配のへず商內薄いて振はない油房賣外商買ひ弗々

# 糸況

## 大阪綿絲前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 四月限 | 二三〇、〇〇 | 二二七、五〇 |
| 十一月限 | 二二一、〇〇 | 二二六、〇〇 |

## 大阪綿絲後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 四月限 | 二三三、九〇 | 二二七、六〇 |
| 十一月限 | 二二二、六〇 | 二二三、一〇 |

## 大阪綿花後場

## 大阪人絹前場

## 大阪人絹後場

## 橫濱生絲前場

## 橫濱生絲後場

## 大阪重要商品

| | | |
|---|---|---|
| 神戶ゴム現物 | | 七二、五厘 |
| 大阪木綿文目現物 | | 五五厘 |
| モスB一現物 | | 八六、七厘 |
| 人絹帝人C | | 六円〇〇錢 |
| 人絹ボ三諸 | | 六円〇〇錢 |
| 絹糸九〇番 | | 三〇、七〇錢 |
| 澱粉新現物 | | 七円一〇錢 |
| 鉛鉑來物 | | 六円五〇錢 |
| 電氣銅現（水道管） | | 四四〇円〇〇錢 |

# 株式 上海戰線進展に人氣めつきり硬化

### 兜町前場況

【東京二十五日發同盟】長期、上海戰線の一大進展と伊國の正規の進攻化し東新新王電、新に、九十錢方、入溜株も新東に九十錢方…

### 兜町後場況

【東京二十五日發同盟】長期上海戰況の進展が刺激となつて市場は又強氣發揮大人氣銀になるべく…

## 東京長期前場

## 東京長期後場

## 東京長期總取組

## 東京短期日步

## 大阪長期後場

## 大阪短期日步（二十五日本社特電）

## 大阪株式短期取組

## 北濱雜觀

【大阪二十五日發同盟】上海戰局の急進展に人氣好轉しアメリカ株式市場の底拔け條落も意に介されず當限東新二四円二、五十錢東洋新二円、鐘紡新十三円、五十錢帝人一円方何れも上放れしをはじめ諸株は概ね殺り、寄付アトも秋波の手詰め買越みず堅調を辿りしが月末の金融の一つ…

## 兜町展望

【東京二十五日發本社特電】上海戰局の躍々たる快ニュースに驚き切つた此の街にて止に早天の慈雨といつた形である、何事をやるにも先づ戰局が大事であるから此の方面に注意を集中して首を長くして待つてゐた所だ…

## 東家廣告

台北庁長はその是全員出迎へ…

## 工事入札公告

## 株式名義書換公告

## 臺灣草廣紡織株式會社

## 總督官房會計課

# 第拾六回營業決算公告

# 第卅八年度上半期營業報告（第七十五回）

## 臺灣米穀代行株式會社

昭和拾貳年拾月貳拾五日 臺北市榮町四丁目二十二番地 株式會社臺灣日日新報社


大連汽船 基隆出帆
近海郵船 基隆出帆
辰馬汽船 出帆
大阪商船 臺灣出帆

節料理 御註文に應じます 元園町川岸第二水門 すき燒 鍋ちり よせ鍋 竹巴 電話二三三六番 御宴會特に勉强

くすりをあわせます 處方調劑致します 臺北市榮町四丁目十一番地 信生堂藥局 電話三二八九番

嘉義競馬大會 三十日（土曜）三十一日（日曜） 主催 臺南州畜產組合聯合會

カーテン 敷物 卓子掛 洋家具 色々と新しい品豐富に取揃へて居ります 室內裝飾ト家具 秋本商店裝飾部 臺北市榮町三丁目九 電五九五八番

軍人會に竹腰の國防服

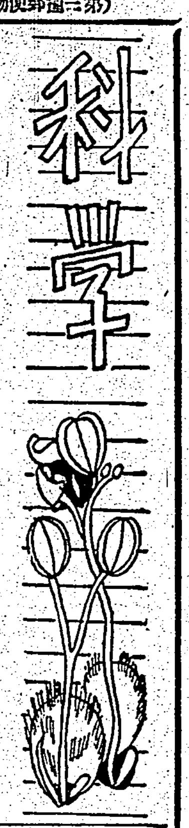
まさかの時に役立つのは この金庫に限る 東京 阿野金庫 臺北 長谷川商行

階下食堂に屋臺式 おでん・かん酒の設備が出來ました 例年の通り よせ鍋・鯛ちり・神戶牛肉すきやき しるこ、ぜんざい、ぞうに、あべ川餅、なべやき、燒うどん、を始めました 是非お立寄り下さい 兒玉町 東家 電話三五四三・五〇七番

誠 迅 速 株式現物賣買・仲買業 池田商店 台北市大和町四ノ八 電話

賣拂入札 馬公要港部

# 科學



## 珈琲と紅茶はどちらが有害か

### 人間を動物試験に使つた珍談

紅茶やコーヒーは、むかしから欧米諸国民の飲料だと思つてゐる方々が、日本には多いやうだが、今では毎日の生活必需品といつても過言でない。これらの嗜好品の歴史は比較的新らしい。これにちなんだ面白い話がある。

×

時は十八世紀、所は北欧スエーデン。グスターフ三世が王位に居られた時代。

當時スエーデンの国内では、輸入したホヤホヤのこの二つのうまい飲物について、どちらが有害かといふことで甲論乙駁、何れが何れとも見えず、各々その利害関係や嗜好に随つて、言はば国論を二分する程の、といつては大袈裟だが、ともかく仲々に議論がやかましかつた。

英明なるグスターフ三世陛下はやゝうるさく思はれて居られた折も折、実に恰好な「試験用動物」が現はれた。雙生児の兄弟が仲よく（？）殺人罪に問はれ、二人とも死刑の宣告を受けたのが丁度この議論の最高潮に達した時なのであつた。

グスターフ三世は勅令を發した。二人の雙生児は死一等を減じられ終身懲役に処せられる身とはなつた。が、ただの終身懲役ではない。一人は必ず毎日、相當大量のコーヒーを飲まねばならず、他の一人は紅茶を飲まねばならない、といふことになつて、毎日飽満の際で南国の夢が盛つた飲物を思ふ存分飲めたといふから、この動物試験も仲々捨てたものではない。

この賢明な帝王の英断に喝采を惜まなかつたコーヒー黨も紅茶黨も、何かと論に各々ひいきの方に理屈を惜まなかつたことだらうと思はれるが、人の噂も七十五日、さうさうコーヒーだ、紅茶だとは騒いでも居られず、いつとはなしに大切な「動物」のことを忘れてしまつた。

×

もうすつかり、その熱がさめ果てた頃、紅茶を毎日飲まされてゐた片一方の囚人が、遂に八十二歳の高齢を以て無事に昇天した。コーヒー老人がその後何年天寿を完うしたかは記録に残つてゐないやうだが、ともかく紅茶を飲んでゐた方が先に此の世から去つたことだけは確実である。それかあらぬか、今に、スエーデン人は、コーヒーの消費高に於ては世界第一の名誉を保持してゐる。

×

以上はやゝ作り話めいた実話だが、死刑囚を各種の科学的試験材料として活用せよ、といふ要は欧米の一部の論客達の好んで論ずる処である。それが人道的であるか否かは別として、この試みはアメリカあたりには実現の可能性があるかも知れない。

### トマト禮讃

一九二八年レメジク氏はトマト汁による消化液の分泌作用を認め一九三五年グライヒマン氏は詳細な薬学的検索を行ひ、我が国では赤坂浣氏がトマト汁の胃腸器官に對する作用を検出してヒスタミン様の物質の存在を想像した。

最近奥谷市太郎氏は更に検索を進めトマト汁の血壓降下作用は種々の條件により多少の差はあるが大體に於て十万倍ヒスタミンの血壓降下に相當すること

トマト汁を家兎臓器に作用したところ、はじめ輕度の抑制を、次いで亢進を來した。

またトマト液は消化液の分泌を促し、殊に膵臓に對し著明であること、更に

トマト汁は利尿作用を有することを發表した。

以上のことを考へると、トマトは蔬菜のうちで結構なものの一つであるらしい。

### 傳説は豫言する

#### 砂漠から水が湧いた話

ニュー・メキシコのアコマ・ピエブロといふ地点は、年中暑い太陽が照りつづけ、不毛の砂漠のままの状態であつた、がこの地方の古い傳説によれば、この砂漠の下には豊富な冷たい水が、滾々と音をたてて流れてゐるといふ。この傳説は、地下水の存在に就いて、考へないでもなかつた技師たちに勇氣を與へ、鑿井事業に手を染める端緒を作つた。

はじめの何回かは失敗に終つた。失望した技師たちは鑿井事業を打切らうとしたが、この傳説に絶對的な信頼を置くインデヤンが承知しない。あすこだ、ここだと試みた揚句、部落のインデヤン達が選した地点で、地下一、五〇〇呎を掘り下げた結果、遂に最後の勝利を得た、一分間に七〇〇ガロンといふ湧出量で、清冽な飲水が湧出したときの歓喜はどんなだつたらう。

この成功に力を得て、續々と新らしい井戸を掘り、現在では百八十本以上の井戸があり、その深度も大方五〇〇呎の淺い井戸だが成績は甚だよい。

この鑿井事業に於けるインデヤンの協力は、実に涙ぐましいものがあつた。鑿井事業に、ポンプ据付に、灌漑用の用水堀の築造に、ありとあらゆる努力奉仕を惜まなかつた。この努力の集積は南部地方のインデアン農業を日ならずして一新させるに相違ない。この結果はアコマ部落をして、白人が渡來しなかつた遠いむかしの儘を再現するであらうと見られてゐる。

### スカンクは毛抜の名手

#### ◇…面白い性癖

動物にはいろいろな面白い性癖がある。

例の悪臭で動物界に鳴りひびいてゐるスカンクには、珍らしい性癖があることが最近發見された。

その珍らしい性癖とは毛蟲をうまい具合に地面の上で轉かして、生きたままその毛を皆抜いてしまふといふ世にも奇妙な「技術」をさしていふのである。

この事実を發見したのはアメリカの野外博物館の研究員カール・シユミツト氏で、漸く獨りで餌を漁れる頃の二匹のスカンクに餌料として毛蟲を與へたところ、見事なこの技をお目にかけたといふわけである。このスカンクは生れたばかりの時から、ガラス檻のなかで育てられた、文字通り子飼のスカンクで、自分の親たちや、同類とは全然離れたところで生の第一歩を踏みだした子供たちで、随つておとなの習を看倣らつたものではなく、本能として、かかる性癖をもつのであらうとシユミツト氏は言つてゐる。

### 吃音は必ず治る

#### レッテル貼る親が悪い

吃音は親が責任を負はねばならぬ場合が屢々あると云ひだしたアメリカの学者がある。アイオワ大学のジョンソン博士がその人で、博士によればベビー言葉では極く当り前の言葉や、音の繰返し、最初の音を反復させることが抑々いけないので、早計にも親たちがドモリのレッテルを貼りつけたがるのだといふことである。

ジョンソン博士は満五歳以下の吃音の児童五十名前後について、如何にその不自由な言葉の障碍が始まつたか、その原因は何かといふ点に就いて研究した。

博士の研究によると、幼童の吃音は、九〇パーセントに上る、何となく、最初の音をくりかへすか、言葉の途中で一つの音を長びかせる癖が偶然ついてしまつただけのことである。こんな習慣がつき始めると、終には無用な緊張をしたり、しかめ顔をしたり、いらいらしたりするやうになる。また原因として、吃音は幼児がすねてゐるとき、閉口して気まづい思ひをしてゐるとき、不決断の状態におかれてゐるとき、腹をたててゐる時を以てはじまる。

そんな状態にあるとき、音や言葉を繰返すのは、何も吃音の幼児に限つたことではなく、総ての子供に共通する傾向なのだといふことをジョンソン博士は主張してゐる。

子供がこんな風に躊躇した語ふりをするのを親たちが心配して、その餘り「この子は吃音だ」と言ひたがるが、これが大いによろしくない、子供はレッテルを貼られてから「自分は吃音なんだ」と深く思ひこんでしまふ。かう思ひ込んでしまふことが吃音を益々深みへ追ひこみ、これに關連した思ひが生じてくる。

かくして螺旋形に吃音の進行が開始される。といふ意味は、最初のごくあたり前の躊躇が、そのことを意識させられることによつて、もつと大きな躊躇に成長し、次第次第にぬきさしのならないものになるのださうである。

博士の手にかかつて、吃音の小児は悉く全快してゐる由である、ただそのうち二五パーセント程が左利から右利に移つた（乃至は一部分右手を使ふやうになつた）にかかはらず、いづれも何の変化もなく、普通に話の出來る小児にかへつてゐるといふことである。

吃音は悪い、それも幼児の場合なら一層[illegible]になほる。

### 科學トピックス

象の"奥さん"は平均して二年に一度位仔象を生む、そして死ぬまでに、一腹から生れる仔象の数は十二匹前後である。

× ×

[illegible]の如きものは[illegible]の形が最もよい。[illegible]を調製することは、さほど困難ではない筈だから、それを製造するがよい。とあるフランスの醫者が云つてゐる。

### 科學小話

バルカン半島の諸国では、野生の草の葉から紅茶類似の飲物を作つて愛用してゐる

× ×

イギリス本国では最近に至つて結核による死亡率が著しく低下したことが報ぜられてゐるが、また死亡率の点で癌の次に位する大病格の難病である

× ×

飛行家は屢々地上五、〇〇〇呎の上空で鳥類に出くはすことがあるが、三、〇〇〇呎の高度ではメツタにそのことがない。尤も海上では三、〇〇〇呎の上空でも屢々鳥類をみる

× ×

アメリカの南部諸州では最近木象の被害が甚だしいので、政府は農林關係の動物学者に督励して、この恐るべき動物の絶滅にやつきとなつてゐる

× ×

北アメリカの水鳥で、まだその巣が發見されないものがタッタ一つだけある。雁の一種で Ross's snowgoose と呼ばれるものがそれである

× ×

恐らく世界最古のストライキは古代エジプトに起つた。王様の墓（ピラミツト）を造るとき、あまりに過剰勞働を強制されたため行つた「坐り込み戦術」の歴史である。西暦前一、一七九年の話である

× ×

ロンドンは西暦前一一四〇年頃から現在に至るまで、ただ一度の日食にしか出合つてゐない

× ×

今年アメリカのテキサス州道路局は、道路の傍を美化するために美麗な野の草の種を蒔いたが、何とその種子は目方だけで八〇トンを越えたといふから豪勢なものではなからうか

× ×

イタリー人は挨拶するとき、ひよいと帽子をあげる恰好を好んでするが、チエスチユアは遠く古代ローマの挨拶の名残である

× ×

西暦前二〇〇年のローマ帝国の記録によれば、當時ローマ帝国は三七二本の主要舗道を持ち、延長合計四万八千哩に亘る道路の舗装が完備してゐたといふことである


高秋冴ゆ！今ぞ全知識大衆におくる誌界白眉の十一月號　特價一圓

中央公論

軍歌放談・兼常清佐
宣傳戰に就て・戸澤鉄彦
新満洲生活點描（繪と文）・須山計一
英國外交の機密室・中村伸
内閣参議官の新設・四方田義茂
日本映畫昨今・K・K・K
支那事變の見透し・清水安三
街の人物評論

時局★談叢　平生釟三郎　島田俊雄
詩　戰影二篇・北原白秋
歌　慶州古都・土屋文明　吟詠・松村英一　秋風・野村泊月
句　銀座小景・大場白水郎　ら（日錄）・堂本印象
文藝　冬の風景・藤原定

支那幣制の崩壊・高垣寅次郎
行程二萬五千支里・スノウ
赤化支那の究明
支那から手を引け・大塚令三
周恩來の地位・尾崎秀實
日支問題論・河合榮治郎
太原訪問記・十河信二

哀しい五郎さんよ・久保田万太郎
外蒙古探査八ケ月・池田克巳
一九三七年のモスコー・フォイヒトワンゲル
イヴォンヌ通信・武林無想庵
支那に於ける英國罪悪史・宗像史郎
赤色外蒙潜行記・布利秋
ブリュッヘル將軍・武藤貞一
★母への手紙・蔣經國
日本の現實・三木清
小説　迷路・野上彌生子
小説　町内の風紀・丹羽文雄
日本主義の現實的基調・淺野晃
ルーズヴェルト宣言の意義・堀眞琴
國民の立場とヒューマニズム・谷川徹三
對支コミンテルン・ルート・平竹傳三
ブルジヨワ經濟學の課題・戸坂逸郎
東亞新經濟ブロックへの道・三宅晴輝
外債と金融使節派遣の急務・津村秀松
二笑亭綺譚・式場隆三郎

（秋色讀物特選）
ゼンメルワイスの悲劇・安田徳太郎
夜長漫筆・宮城道雄
刀匠一夕話・笠間繁繼
スパイ・三宅正太郎
飛行機と箏・内田百閒
吉原繪巻・木村富子
巴里回想記・重徳泗水
陸奥宗光の生涯・徳富蘇峰

我が半生の記・中國共産黨領袖　毛澤東



理想的酵母剤　バンドマン
¥1.00
食慾不振　消化不良　榮養障碍
帝國製糖株式會社



臺日　ハイキングコース（臺北近郊）
一冊　金壹圓
發賣所　臺日商事課

MARUZEN・MARUZEN・MARUZEN
日本のインキを代表する
アテナインキ
心も文字ものびのびと……
ATHENA
丸善インキ
丸善スタンプインキ
丸善チェックインキ
丸善製圖用インキ
丸善墨汁
丸善朱墨汁
●最寄の文具店でお求め下さい●

A型2號
ナショナルランプ。

武田發賣品
身体髪膚受之父母
外傷の手當はサキシロンで
傷の上皮形成・肉芽促進薬として醫家の愛用するサキシロールに殺菌消毒剤と痛み痒み止剤を配合した最新の家庭薬です。
①傷口を殺菌消毒して、化膿を防ぎ
②痛み、痒みを止め
③傷面に速に肉芽や表皮を新生して傷をなほします。
二〇錢　三〇錢　六〇錢　一圓二〇
武田の家庭外傷薬
サキシロン
製造發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店